

## (4) 人文学類

## 学類共通(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB50A11	哲学・宗教学入門	1	1.0	1	春AB	月1	1H201	津崎 良典, 土井 裕人	哲学と宗教学の基本的な概念や方法について学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象)
AB50B11	史学入門	1	1.0	1	春AB	火2	2H101	上田 裕之, 柴田 大輔, 田中 友香理, 中西 僚太郎, 中野目 徹, 三谷 芳幸, 村上 宏昭, 山田 重郎	歴史学研究の基礎について講義する。	専門導入科目(事前登録対象)
AB50C11	考古学・民俗学入門	1	1.0	1	秋AB	火2	1H101	常木 晃, 三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 中野 泰, 武井 基晃	先史学・考古学・民俗学・文化人類学の基本的な考え方や基礎的な知識、研究の方法論を学ぶ。フィールドワークに基づいて生活文化の総体的理解を深め、物質文化資料や、人々の生活の観察・対話を通じて、過去と現在の人間社会の営みや多様性を考察する方法を身に付ける。	専門導入科目(事前登録対象)
AB50E11	言語分析入門	1	1.0	1	春AB	月2	5C506	加賀 信広, 宮腰 幸一, 高木 智世	言語学の基本的な考え方や分析法を学ぶことにより、言語学に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、文の構造や意味およびその使用について言語学的に考察するとはどういうことかを知り、実際に言語分析を行うための素地を養成する。日本語と英語を主な題材として取りあげ、統語論、意味論、語用論などの観点から考察を進める。	履修制限を設けることがある。専門導入科目(事前登録対象)
AB50F11	個別言語学入門	1	1.0	1	秋AB	月1	1H101	矢澤 真人, 大矢 俊明, 池田 晋	日本語、ドイツ語、中国語などを例にして、個別言語分析の事例を紹介し、言語研究がどのようなものであるかを考える。	履修制限を設けることがある。専門導入科目(事前登録対象)

## 哲学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB60A11	哲学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	火1	1C210	檜垣 良成	サンデルの白熱教室も参照しながら、哲学の基本問題を考える(他専攻歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB60A21	哲学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火1	1C210	檜垣 良成	サンデルの白熱教室も参照しながら、引き続き哲学の基本問題を考える(他専攻歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	
AB60B11	倫理学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	木4	1C210	千葉 建	倫理学の基本的な概念と方法について考察する。	
AB60B21	倫理学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	木4	1C210	千葉 建	引き続き倫理学の基本的な概念と方法について考察する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB60C11	宗教学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	金3	1D204	保呂 篤彦	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題に関する基本的な情報を提供するとともに、宗教研究(広義の宗教学)の諸相を概説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB60C21	宗教学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	金3	1D201	保呂 篤彦	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題に関する基本的な情報を提供するとともに、宗教研究(広義の宗教学)の諸相を概説する。	
AB60G11	東洋思想-a	1	1.0	1・2	春AB	木3	共同利用棟 A201	佐久間 秀範	インドの古代の思想史を概観し、日本やアジア文化圏全般に深い影響を与えたインド思想、インド仏教思想に関する基礎知識を習得する。	
AB60G21	東洋思想-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3	共同利用棟 A201	佐久間 秀範	春学期に続いて、インドの古代の思想史を概観し、日本やアジア文化圏全般に深い影響を与えたインド思想、インド仏教思想に関する基礎知識を習得する。	

## 哲学(哲学・倫理学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB61A11	哲学特講I-a	1	1.0	2-4	春AB	水6	1C305	津崎 良典	デカルト哲学について講ずる。	西暦奇数年度開講。
AB61A21	哲学特講I-b	1	1.0	2-4	秋AB	水6	1C305	津崎 良典	デカルト哲学について講ずる(承前)。	西暦奇数年度開講。
AB61A31	哲学特講II-a	1	1.0	2-4						2019年度開講せず。
AB61A41	哲学特講II-b	1	1.0	2-4						2019年度開講せず。
AB61A51	哲学特講III-a	1	1.0	2-4	春C	火1,2	共同利用棟 A203	檜垣 良成	現代日本社会における哲学の危機について、徹底的に「哲学対話」する(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB61A61	哲学特講III-b	1	1.0	2-4	秋C	火1,2	共同利用棟A203	檜垣 良成	現代日本社会における哲学の危機について、引き続き徹底的に〈哲学対話〉する(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	西暦奇数年度開講。
AB61A71	哲学特講IV-a	1	1.0	2-4					現代日本社会における哲学の危機について、〈哲学対話〉を深める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	2019年度開講せず。
AB61A81	哲学特講IV-b	1	1.0	2-4					現代日本社会における哲学の危機について、引き続き〈対話〉を深める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	2019年度開講せず。
AB61C11	哲学史I-a	1	1.0	2-4	春AB	水3	1B308	津崎 良典	西洋近世哲学史を概観する(ヘレニズム哲学復興からデカルトまで)。	西暦奇数年度開講。
AB61C21	哲学史I-b	1	1.0	2-4	秋AB	水3	1B308	津崎 良典	西洋近世哲学史を概観する(マルブランシュからライブニッツまで)。	西暦奇数年度開講。
AB61C31	哲学史II-a	1	1.0	2-4						2019年度開講せず。
AB61C41	哲学史II-b	1	1.0	2-4						2019年度開講せず。
AB61C51	哲学史III-a	1	1.0	2-4	春AB	火3	1C406	檜垣 良成	西洋哲学史上の諸問題にテキストに即して迫る(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	西暦奇数年度開講。
AB61C61	哲学史III-b	1	1.0	2-4	秋AB	火3	1C406	檜垣 良成	西洋哲学史上の諸問題に引き続きテキストに即して迫る(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	西暦奇数年度開講。
AB61C71	哲学史IV-a	1	1.0	2-4					西洋哲学史上の諸問題をテキストに即して極める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	2019年度開講せず。
AB61C81	哲学史IV-b	1	1.0	2-4					西洋哲学史上の諸問題を引き続きテキストに即して極める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	2019年度開講せず。
AB61G12	哲学演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	月4	1C404	津崎 良典	近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(フランス語既習者対象)。	2019年度より2年おき開講。
AB61G22	哲学演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	月4	1C404	津崎 良典	近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(承前:フランス語既習者対象)。	2019年度より2年おき開講。
AB61G32	哲学演習II-a	2	1.0	2-4						2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB61G42	哲学演習II-b	2	1.0	2-4						2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB61G52	哲学演習III-a	2	1.0	2-4						2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB61G62	哲学演習III-b	2	1.0	2-4						2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB61G72	哲学演習IV-a	2	1.0	2-4	春AB	火2	1C304	檜垣 良成	カントのテキストを丁寧に読んで現代の哲学的諸問題と対決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2019年度より2年おき開講。
AB61G82	哲学演習IV-b	2	1.0	2-4	秋AB	火2	1C304	檜垣 良成	カントのテキストを引き続き丁寧に読んで現代の哲学的諸問題と対決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2019年度より2年おき開講。
AB61H12	哲学演習V-a	2	1.0	2-4					カントのテキストを丁寧に読んで現代の哲学的諸問題を考える(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB61H22	哲学演習V-b	2	1.0	2-4					カントのテキストを引き続き丁寧に読んで現代の哲学的諸問題を考える(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB61H32	哲学演習VI-a	2	1.0	2-4					カントのテキストを丁寧に読んで現代の哲学的諸問題を解決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB61H42	哲学演習VI-b	2	1.0	2-4					カントのテキストを引き続き丁寧に読んで現代の哲学的諸問題を解決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB61J12	哲学史演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	火4	1B409	小石川 和永	ハイデガーとアーレントは、いずれも「実存」(人間)が「可死的な者である」というところから「在る」という哲学的問いを打ち立てた。では、アーレントの提出する「私たち」人間とはどのような存在なのだろうか? 本授業では、ハイデガーとアーレントにおけるアリストテレス哲学の受容・批判・独自の哲学への適応について比較検討する。	
AB61J22	哲学史演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	火4	1B409	小石川 和永	ハイデガーとアーレントは、いずれも「実存」(人間)が「可死的な者である」というところから「在る」という哲学的問いを打ち立てた。では、アーレントの提出する「私たち」人間とはどのような存在なのだろうか? 本授業では、ハイデガーとアーレントにおけるアリストテレス哲学の受容・批判・独自の哲学への適応について比較検討する。	
AB61J32	哲学史演習II-a	2	1.0	2-4	春AB	月6	1C304	石田 隆太	プラトン『国家』の原典を精読する。古典ギリシア語での講読参加が理想的だが、欧米語による現代語訳での参加も許可する。参加希望者は必ず初回の授業に出席すること。成績評価は平常点に加えてレポートなどを課す場合もある。	2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB61J42	哲学史演習II-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	月6	1C304	石田 隆太	引き続き、プラトンの原典を精読する。古典ギリシア語での講読参加が理想的だが、欧米語による現代語訳での参加も許可する。参加希望者は必ず初回の授業に出席すること。成績評価は平常点に加えてレポートなどを課す場合もある。	2019年度開講せず。
AB62A11	倫理学特講I-a	1	1.0	2 - 4	春AB	木3	1B303	桑原 直巳	倫理思想を支える諸要素のうちからひとつテーマを設定し、それに関して種々の角度から考察を試みる。資料等は授業で指示する。	西暦奇数年度開講。
AB62A21	倫理学特講I-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	木3	1B303	桑原 直巳	引き続き倫理思想を支える諸要素のうちからひとつテーマを設定し、それに関して種々の角度から考察を試みる。資料等は授業で指示する。	西暦奇数年度開講。
AB62A31	倫理学特講II-a	1	1.0	2 - 4	春AB	金5	1B302	千葉 建	倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題を考える。	2020年度より偶数年度開講。
AB62A41	倫理学特講II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	金5	1B302	千葉 建	倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題をさらに考える。	2020年度より偶数年度開講。
AB62A51	倫理学特講III-a	1	1.0	2 - 4	春AB	木4	共同利用棟 A102	伊藤 益	日本人にとって「愛」とはどのような事態なのかを考察する。	2021年度より開講せず。
AB62A61	倫理学特講III-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	木4	共同利用棟 A102	伊藤 益	日本人の死生観を考察する。	2021年度より開講せず。
AB62C11	倫理思想史I-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月3	1C504	桑原 直巳	古典期からヘレニズム期にいたる古代ギリシア、および教父から中世にかけての倫理思想の展開を概観し、その意味について考察する。	西暦奇数年度開講。
AB62C21	倫理思想史I-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月3	1C504	桑原 直巳	引き続き古典期からヘレニズム期にいたる古代ギリシア、および教父から中世にかけての倫理思想の展開を概観し、その意味について考察する。	西暦奇数年度開講。
AB62C31	倫理思想史II-a	1	1.0	2 - 4	春AB	月5	共同利用棟 A101	千葉 建	近代イギリス倫理思想史をテキストに即して考察する。	2020年度、2021年度開講せず。2022年度より偶数年度開講。
AB62C41	倫理思想史II-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	月5	共同利用棟 A101	千葉 建	引き続き近代イギリス倫理思想史をテキストに即して考察する。	2020年度、2021年度開講せず。2022年度より偶数年度開講。
AB62C51	倫理思想史III-a	1	1.0	2 - 4	春AB	金4	共同利用棟 A101	伊藤 益	浄土教における悪の問題を考察する。	2020年度より開講せず。
AB62C61	倫理思想史III-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	金4	共同利用棟 A101	伊藤 益	親鸞における悪の問題を考察する。	2020年度より開講せず。
AB62C71	倫理思想史IV-a	1	1.0	2 - 4					近代ドイツ倫理思想史をテキストに即して考察する。	2020年度開講。2021年度より開講せず。2019年度開講せず。
AB62C81	倫理思想史IV-b	1	1.0	2 - 4					引き続き近代ドイツ倫理思想史をテキストに即して考察する。	2020年度開講。2021年度より開講せず。2019年度開講せず。
AB62E11	倫理思想史V-a	1	1.0	2 - 4					浄土教における悪の問題を考察する。	2020年度開講。2021年度より開講せず。2019年度開講せず。
AB62E21	倫理思想史V-b	1	1.0	2 - 4					親鸞における悪の問題を考察する。	2020年度開講。2021年度より開講せず。2019年度開講せず。
AB62G12	倫理学演習I-a	2	1.0	2 - 4	春AB	月4	1B210	桑原 直巳	キリスト教及び西洋中世思想の歴史的展開について考察する。	2020年度開講せず。2021年度より2年おき開講。
AB62G22	倫理学演習I-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	月4	1B210	桑原 直巳	引き続きキリスト教及び西洋中世思想の歴史的展開について考察する。	2020年度開講せず。2021年度より2年おき開講。
AB62G32	倫理学演習II-a	2	1.0	2 - 4	春AB	金3	1C402	千葉 建	近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2021年度開講せず。2022年度より2年おき開講。
AB62G42	倫理学演習II-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	金3	1C402	千葉 建	引き続き近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2021年度開講せず。2022年度より2年おき開講。
AB62G52	倫理学演習III-a	2	1.0	2 - 4	春AB	木5	共同利用棟 A202	伊藤 益	『歎異抄』の前半部を読むことをとおして、鎌倉仏教の一側面に迫る。	2020年度、2021年度、2022年度開講せず。2023年度より2年おき開講。
AB62G62	倫理学演習III-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	木5	共同利用棟 A202	伊藤 益	『歎異抄』の後半部を読むことをとおして、鎌倉仏教の一側面に迫る。	2020年度、2021年度、2022年度開講せず。2023年度より2年おき開講。
AB62G72	倫理学演習IV-a	2	1.0	2 - 4					近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2019年、2021年度、2022年度開講せず。2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB62G82	倫理学演習IV-b	2	1.0	2 - 4					引き続き近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2019年、2021年度、2022年度開講せず。2019年度開講せず。
AB62H12	倫理学演習V-a	2	1.0	2 - 4	春AB	木6	1C304	樋口 達郎	倫理学の古典を原典講読する。	2019年度開講せず。
AB62H22	倫理学演習V-b	2	1.0	2 - 4	秋AB	木6	1C304	樋口 達郎	引き続き倫理学の古典を原典講読する。	2019年度開講せず。
AB62K12	哲学・倫理学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		檜垣 良成, 津崎 良典, 伊藤 益, 桑原 直巳, 千葉 建	哲学・倫理学に関する卒業論文の指導を行う。	
AB62K22	哲学・倫理学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		檜垣 良成, 津崎 良典, 伊藤 益, 桑原 直巳, 千葉 建	哲学・倫理学に関する卒業論文の指導を行う。	
AB62K38	卒業論文(哲学・倫理学)	8	6.0	4	通年	随時		檜垣 良成, 津崎 良典, 伊藤 益, 桑原 直巳, 千葉 建	哲学・倫理学に関する卒業論文。	

哲学(宗教学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB63A11	宗教学-a	1	1.0	2・3	春AB	金5	1C210	土井 裕人	宗教をはじめとする基本概念の成立を検討したうえで、代表的な学説をたどることによって宗教学の方法論への理解を深める。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	
AB63A21	宗教学-b	1	1.0	2・3	秋AB	金5	1C210	土井 裕人	宗教をはじめとする基本概念の成立を検討したうえで、代表的な学説をたどることによって宗教学の方法論への理解を深める。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	
AB63A31	宗教哲学-a	1	1.0	2 - 4					主に講義形式で、多様な宗教哲学のあり方と可能性、宗教研究における宗教哲学の位置等について考察するとともに、いくつかのタイプの古典的な宗教哲学(狭義の)を紹介する。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB63A41	宗教哲学-b	1	1.0	2 - 4					主に講義形式で、科学的宗教理解(研究)、形而上学、キリスト教神学などと宗教哲学との関わり、現代における宗教哲学の主要なテーマと諸潮流のいくつかについて概説する。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB63A71	比較思想論-a	1	1.0	2 - 4	春AB	水4	1B203	宮崎 展昌	古代・中世のインドにおける仏教の出現と変遷、およびアジア諸地域における仏教の伝播と受容について、仏教と接触、交渉のあった他の思想や宗教との比較を試みながら論じる。	
AB63A81	比較思想論-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	水4	1B203	一色 大悟	近代日本の仏教思想を、官学アカデミズムにおける仏教学成立過程を軸として、近世仏教学・近代日本の諸思想・西洋に由来する思想や宗教等と比較しつつ論じる。	
AB63B11	東洋宗教思想史-a	1	1.0	2 - 4	春AB	木4	1B208	佐久間 秀範	東洋宗教という場合、インド、東南アジア諸国、および中国・チベット・韓国・日本などの東アジア諸国、すなわち仏教と関わり深い地域の宗教を指す。この講義では、仏教思想を中心にこれらの地域の宗教思想を概観する。	
AB63B21	東洋宗教思想史-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	木4	1B208	佐久間 秀範	東洋宗教という場合、インド、東南アジア諸国、および中国・チベット・韓国・日本などの東アジア諸国、すなわち仏教と関わり深い地域の宗教を指す。この講義では、仏教思想を中心にこれらの地域の宗教思想を概観する。	
AB63B31	西洋宗教思想史-a	1	1.0	2 - 4	春AB	火5	共同利用棟 A101	土井 裕人	明治期以降の日本の学者が西洋の宗教思想(特に神秘主義)をどのように解釈したかを通じて、宗教の「本質」がいかに捉えられようか検討する。詳細はシラバスを必ず参照すること。	西暦奇数年度開講。
AB63B41	西洋宗教思想史-b	1	1.0	2 - 4	秋AB	火5	共同利用棟 A101	土井 裕人	明治期以降の日本の学者が西洋の宗教思想(特に神秘主義)をどのように解釈したかを通じて、宗教の「本質」がいかに捉えられようか検討する。詳細はシラバスを必ず参照すること。	西暦奇数年度開講。
AB63C11	宗教学特講-I	1	1.0	2 - 4	秋C春季休業中	集中		土井 裕人	宗教学における重要なトピックを特に取り上げて考察する。	「宗教学a(または-a)」、「宗教学b(または-b)」、「西洋宗教思想史a(または-a)」、「西洋宗教思想史b(または-b)」から2科目以上を履修済あるいは履修中の者に限る。
AB63C31	宗教学特講-II	1	1.0	2 - 4	秋C春季休業中	集中		三代 舞	宗教学における重要なトピックを特に取り上げて考察する。	「比較思想論a(または-a)および「比較思想論b(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。
AB63C51	宗教学特講-III	1	1.0	2 - 4	秋C春季休業中	集中		佐久間 秀範	宗教学における重要なトピックを特に取り上げて考察する。	「東洋宗教思想史a(または-a)」、「東洋宗教思想史b(または-b)」、「インド・仏教思想a(または-a)」、「インド・仏教思想b(または-b)」から2科目以上を履修済あるいは履修中の者に限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB63C71	宗教学特講-IV	1	1.0	2-4	秋C春季休業中	集中		保呂 篤彦	宗教学における重要なトピックを特に取り上げて考察する。	「宗教学a(または-a)」・「宗教学b(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。
AB63E12	宗教学演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	月4	1B309	保呂 篤彦	一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教学に関するテキストを講読し、その内容について議論を行う。	
AB63E22	宗教学演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	月4	1B309	保呂 篤彦	一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教学に関するテキストを講読し、その内容について議論を行う。	
AB63E32	宗教学演習I-c	2	1.0	2-4	秋C春季休業中	集中		保呂 篤彦	一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教学に関するテキストを講読し、その内容について議論を行う。	「宗教学演習Ia(または-a)」および「宗教学演習Ib(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。
AB63E52	宗教学演習II-a	2	1.0	2-4	春AB	木5	人社A817	佐久間 秀範	サンスクリット原典講読中級。サンスクリット語の原典を日本語訳などを参照しながら読解してゆく。	
AB63E62	宗教学演習II-b	2	1.0	2-4	秋AB	木5	人社A817	佐久間 秀範	サンスクリット原典講読中級。サンスクリット語の原典を日本語訳などを参照しながら読解してゆく。	
AB63E72	宗教学演習II-c	2	1.0	2-4	秋C春季休業中	集中		佐久間 秀範	サンスクリット原典講読中級。サンスクリット語の原典を日本語訳などを参照しながら読解してゆく。	「宗教学演習IIa(または-a)」および「宗教学演習IIb(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。
AB63F12	宗教学演習III-a	2	1.0	2-4	春AB	火4	1C404	志田 泰盛	サンスクリットの原典講読。初等文法の修了者を対象とする。講読するテキストについては出席者の希望を勘案して決める。シラバスを参照のこと。	
AB63F22	宗教学演習III-b	2	1.0	2-4	秋AB	火4	1C404	志田 泰盛	サンスクリットの原典講読。初等文法の修了者を対象とする。講読するテキストについては出席者の希望を勘案して決める。シラバスを参照のこと。	
AB63F32	宗教学演習III-c	2	1.0	2-4	秋C春季休業中	集中		志田 泰盛	サンスクリットの原典講読。初等文法の修了者を対象とする。講読するテキストについては出席者の希望を勘案して決める。シラバスを参照のこと。	「宗教学演習IIIa(または-a)」および「宗教学演習IIIb(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。
AB63F52	宗教学演習IV-a	2	1.0	2-4	春AB	金6	1B309	土井 裕人	宇宙・世界の構造と宗教思想というテーマを中心に、創造や制作といった観点から文献を精読する。演習で扱った内容は、各自の問題意識に応じていろいろな場でアウトプットされることが望ましい。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	
AB63F62	宗教学演習IV-b	2	1.0	2-4	秋AB	金6	1B309	土井 裕人	宇宙・世界の構造と宗教思想というテーマを中心に、創造や制作といった観点から文献を精読する。演習で扱った内容は、各自の問題意識に応じていろいろな場でアウトプットされることが望ましい。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	
AB63F72	宗教学演習IV-c	2	1.0	2-4	秋C春季休業中	集中		土井 裕人	宇宙・世界の構造と宗教思想というテーマを中心に、創造や制作といった観点から文献を精読する。演習で扱った内容は、各自の問題意識に応じていろいろな場でアウトプットされることが望ましい。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	「宗教学演習IVa(または-a)」および「宗教学演習IVb(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。
AB63G52	東洋宗教思想史演習II-a	2	1.0	2-4	春AB	金4	共同利用棟A102	近藤 隼人	サンスクリットの初等文法を学び、アジアの諸文化の源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	
AB63G62	東洋宗教思想史演習II-b	2	1.0	2-4	春C夏季休業中	集中		近藤 隼人	サンスクリットの初等文法を学び、アジアの諸文化の源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	
AB63G72	東洋宗教思想史演習II-c	2	1.0	2-4	秋AB	金4	共同利用棟A102	近藤 隼人	サンスクリットの初等文法を学び、アジアの諸文化の源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	
AB63H12	西洋宗教思想史演習-a	2	1.0	2-4	春AB	火6	1B309	土井 裕人	西洋古代の宗教思想を中心に検討する。邦訳された研究書を使用し、参加者が輪番で準備したレジュメにより進める予定。電子シラバスを一読のこと。	
AB63H22	西洋宗教思想史演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	火6	1B309	土井 裕人	西洋古代の宗教思想を中心に検討する。邦訳された研究書を使用し、参加者が輪番で準備したレジュメにより進める予定。電子シラバスを一読のこと。	
AB63H32	西洋宗教思想史演習-c	2	1.0	2-4	秋C春季休業中	集中		土井 裕人	西洋古代の宗教思想を中心に検討する。邦訳された研究書を使用し、参加者が輪番で準備したレジュメにより進める予定。電子シラバスを一読のこと。	「西洋宗教思想史演習a(または-a)」および「西洋宗教思想史b(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。
AB63H52	宗教哲学演習-a	2	1.0	2-4	春AB	火4	1B310	保呂 篤彦	宗教研究の方法論や宗教哲学に関係する基本的なテキストを講読しながら、その内容について議論する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
AB63H62	宗教哲学演習-b		2	1.0	2-4	秋AB	火4	1B310	保呂 篤彦	宗教研究の方法論や宗教哲学に関する基本的なテキストを講読しながら、その内容について議論する。	
AB63H72	宗教哲学演習-c		2	1.0	2-4	秋C春季休業中	集中		保呂 篤彦	宗教研究の方法論や宗教哲学に関する基本的なテキストを講読しながら、その内容について議論する。	「宗教哲学演習IVa(または-a)」および「宗教哲学演習IVb(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。
AB63J13	宗教学実習-A		3	1.0	2-4	通年	集中		土井 裕人	日本国内の宗教施設等を訪れ、宗教の現場に接する。	西暦奇数年度開講。
AB63J23	宗教学実習-B		3	1.0	2-4					日本国内の宗教施設等を訪れ、宗教の現場に接する。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB63J51	人間社会と宗教		1	1.0	2-4	秋AB	月2	共同利用棟 A201	村上 晶	社会学の基礎理論について、人間の社会における宗教を手がかりに学ぶ。	
AB63K12	宗教学研究-a		2	2.0	4	春ABC	随時		佐久間 秀範, 保呂 篤彦, 土井 裕人	卒業論文執筆のための演習	
AB63K22	宗教学研究-b		2	2.0	4	秋ABC	随時		佐久間 秀範, 保呂 篤彦, 土井 裕人	卒業論文執筆のための演習	
AB63K38	卒業論文(宗教学)		8	6.0	4	通年	随時		佐久間 秀範, 保呂 篤彦, 土井 裕人	宗教学に関する卒業論文	

史学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
AB70A11	日本史概説I-a		1	1.0	1-2	春AB	木5	1C403	三谷 芳幸	奈良時代の政治・社会を中心に、日本古代史の諸問題を概説する。	
AB70A21	日本史概説I-b		1	1.0	1-2	秋AB	木5	1C403	三谷 芳幸	平安時代の政治・社会を中心に、日本古代史の諸問題を概説する。	
AB70A31	日本史概説II-a		1	1.0	1-2	春AB	金3	共同利用棟 A201	中野目 徹	日本史の近代・現代について、思想史の史料を中心に概説する。	
AB70A41	日本史概説II-b		1	1.0	1-2	秋AB	金3	共同利用棟 A201	中野目 徹	日本史の近代・現代について、思想史の方法を中心に概説する。	
AB70B11	オリエント史概説-a		1	1.0	1-2	春AB	金4	1C403	柴田 大輔	楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前三千年紀から二千年紀前半の古代西アジア史を講義する。	
AB70B21	オリエント史概説-b		1	1.0	1-2	秋AB	金4	1C403	山田 重郎	楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前二千年紀後半から一千年紀の古代西アジア史を講義する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB70C11	中国史概説-a		1	1.0	1-2	春AB	木4	1C310	上田 裕之	内モンゴルから華北にかけての地域を中心に、新石器時代から10世紀までのユーラシア大陸東方情勢について解説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) AB70C31と同一。
AB70C21	中国史概説-b		1	1.0	1-2	秋AB	木4	1C310	上田 裕之	内モンゴルから華北にかけての地域を中心に、11世紀から20世紀なかばまでのユーラシア大陸東方情勢について解説する。	AB70C41と同一。
AB70C31	東洋史概説a		1	1.0	1-2	春AB	木4	1C310	上田 裕之	内モンゴルから華北にかけての地域を中心に、新石器時代から10世紀までのユーラシア大陸東方情勢について解説する。	AB70C11と同一。地球学類教職課程履修者に限る。 AB70C11と同一。
AB70C41	東洋史概説b		1	1.0	1-2	秋AB	木4	1C310	上田 裕之	内モンゴルから華北にかけての地域を中心に、11世紀から20世紀なかばまでのユーラシア大陸東方情勢について解説する。	地球学類教職課程履修者に限る。 AB70C21と同一。
AB70E11	ヨーロッパ史概説-a		1	1.0	1-2	春AB	金6	1D201	村上 宏昭	中近世ヨーロッパの社会史について講義する。	
AB70E21	ヨーロッパ史概説-b		1	1.0	1-2	秋AB	金6	1D201	村上 宏昭	近現代ヨーロッパの社会史について講義する。	
AB70F11	歴史地理学概説-a		1	1.0	1-2	春AB	木3	1D201	中西 僚太郎	歴史地理学とはどのような学問であるかについて、主として人口・都市・交通をテーマとして取り上げ解説する。	
AB70F21	歴史地理学概説-b		1	1.0	1-2	秋AB	木3	1D201	中西 僚太郎	歴史地理学とはどのような学問であるかについて、主として産業・宗教・文化をテーマとして取り上げ解説する。	

史学(日本史学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
AB71A11	日本史史料学I-a		1	1.0	2-3					西暦奇数年度開講。2019年度開講せず。	
AB71A21	日本史史料学I-b		1	1.0	2-3					西暦奇数年度開講。2019年度開講せず。	
AB71A31	日本史史料学II-a		1	1.0	2-3	春AB	月4	1C504	田中 友香理	公文書を中心に近代史料の検討を行う。	
AB71A41	日本史史料学II-b		1	1.0	2-3	秋AB	月4	1C504	田中 友香理	私文書を中心に近代史料の検討を行う。	
AB71A51	日本史史料学III-a		1	1.0	2-3					西暦奇数年度開講。2019年度開講せず。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB71A61	日本史史料学III-b	1	1.0	2・3						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71B11	日本史特講I-a	1	1.0	2-4	春AB	金2	1B208	中野目 徹	近代の思想家・ジャーナリストである三宅雪嶺(1860-1945)について明治期を中心に検討する。	
AB71B21	日本史特講I-b	1	1.0	2-4	秋AB	金2	1B208	中野目 徹	近代の思想家・ジャーナリストである三宅雪嶺について大正・昭和期を中心に検討する。	
AB71B31	日本史特講II-a	1	1.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71B41	日本史特講II-b	1	1.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71B51	日本史特講III-a	1	1.0	2-4	春AB	木6	1B308	三谷 芳幸	律令の条文を中心に、古代の律令制の仕組みを考察する。	
AB71B61	日本史特講III-b	1	1.0	2-4	秋AB	木6	1B308	三谷 芳幸	土地制度を中心に、古代の地方支配のあり方を考察する。	
AB71B71	日本史特講IV-a	1	1.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71B81	日本史特講IV-b	1	1.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71C11	日本史特講V-a	1	1.0	2-4	夏季休業中	集中				
AB71C21	日本史特講V-b	1	1.0	2-4	春季休業中	集中				
AB71C31	日本史特講VI-a	1	1.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71C41	日本史特講VI-b	1	1.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71E12	日本史演習I-a	2	2.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71E22	日本史演習I-b	2	2.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71E32	日本史演習II-a	2	2.0	2-4	春AB	木3,4	共同利用棟 A202	三谷 芳幸	古代の史料を輪読する。	
AB71E42	日本史演習II-b	2	2.0	2-4	秋AB	木3,4	共同利用棟 A202	三谷 芳幸	古代の史料を輪読する。	
AB71E52	日本史演習III-a	2	2.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71E62	日本史演習III-b	2	2.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71E72	日本史演習IV-a	2	2.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71E82	日本史演習IV-b	2	2.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71F12	日本史演習V-a	2	2.0	2-4	春AB	火3,4	共同利用棟 A202	中野目 徹	昭和戦前・戦中期について論じた先行研究を輪読する。	
AB71F22	日本史演習V-b	2	2.0	2-4	秋AB	火3,4	共同利用棟 A202	中野目 徹	『昭和天皇実録』昭和12(1937)年以降を輪読する。	
AB71F32	日本史演習VI-a	2	2.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71F42	日本史演習VI-b	2	2.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71G13	日本史実習-A	3	1.0	2-4						西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB71G23	日本史実習-B	3	1.0	2-4	秋学期	応談		三谷 芳幸	古代に関する史料見学とフィールド・ワークを行う。	原則として、日本史演習II-aを履修および日本史演習II-bを履修中の者を対象とする。含野外調査
AB71G33	日本史実習-C	3	1.0	2-4	秋学期	応談		中野目 徹	日本近代・現代史が営まれた場に赴きフィールドワークを行う。	原則として、日本史演習V-aを履修および日本史演習V-bを履修中の者を対象とする。含野外調査
AB71K12	日本史研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		三谷 芳幸	卒業論文作成の指導を行う。	
AB71K22	日本史研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		三谷 芳幸	卒業論文執筆の指導を行う。	
AB71K38	卒業論文(日本史学)	8	6.0	4	通年	随時		三谷 芳幸	日本史に関する卒業論文。	

史学(ユーラシア史学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB72A12	アッカド語初級I	2	1.0	1・2	春A	木5,6	1B204	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に名詞について学ぶ。	
AB72A22	アッカド語初級II	2	1.0	1・2	春B	木5,6	1B204	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に強動詞のG語幹について学ぶ。	
AB72A32	アッカド語初級III	2	1.0	1・2	秋A	木5,6	1B204	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に強動詞のその他の語幹について学ぶ。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB72A42	アッカド語初級IV		2	1・2	秋B	木5,6	1B204	柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に弱動詞について学ぶ。	
AB72C12	古代西アジア史文献学I-a		2	1・2					古バビロニア時代の王碑文を講読する。	2019年度開講せず。
AB72C22	古代西アジア史文献学I-b		2	1・2					新アッシリア時代の王碑文を講読する。	2019年度開講せず。
AB72C32	古代西アジア史文献学II-a		2	1・2	春AB	金2	1B301	山田 重郎	『ハンムラビ法典』を講読する。	西暦奇数年度開講。
AB72C42	古代西アジア史文献学II-b		2	1・2	秋AB	金2	1B301	山田 重郎	古バビロニア時代の平易な書簡を講読する。	西暦奇数年度開講。
AB72C52	古代西アジア史文献学III-a		2	1・2					文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	2019年度開講せず。
AB72C62	古代西アジア史文献学III-b		2	1・2					文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	2019年度開講せず。
AB72C72	古代西アジア史文献学IV-a		2	1・2					文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	2019年度開講せず。
AB72C82	古代西アジア史文献学IV-b		2	1・2					文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	2019年度開講せず。
AB72D12	古代西アジア史文献学V-a		2	1・2	春A	金5,6	1B301	柴田 大輔	バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	西暦奇数年度開講。
AB72D22	古代西アジア史文献学V-b		2	1・2	春B	金5,6	1B301	柴田 大輔	バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	西暦奇数年度開講。
AB72D32	古代西アジア史文献学VI-a		2	1・2	秋A	金5,6	1B301	柴田 大輔	バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	西暦奇数年度開講。
AB72D42	古代西アジア史文献学VI-b		2	1・2	秋B	金5,6	1B301	柴田 大輔	バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	西暦奇数年度開講。
AB72F11	オリエント史特講I-a		1	2・3	春AB	金3	1B202	山田 重郎	古代西アジア史に関する講義を行う。	
AB72F21	オリエント史特講I-b		1	2・3	秋AB	金3	1B202	柴田 大輔	古代西アジア史に関する講義を行う。	
AB72F31	オリエント史特講II-a		1	2・3					古代西アジア史に関する講義を行う。	2019年度開講せず。
AB72F41	オリエント史特講II-b		1	2・3					古代西アジア史に関する講義を行う。	2019年度開講せず。
AB72H12	古代西アジア史演習I-a		2	2・3					古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	この科目の受講は「アッカド語初級a」・「同b」もしくは「アッカド語初級I」・「同II」・「同III」・「同IV」の単位を取得したものに限定される。 2019年度開講せず。
AB72H22	古代西アジア史演習I-b		2	2・3					古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	この科目の受講は「アッカド語初級a」・「同b」もしくは「アッカド語初級I」・「同II」・「同III」・「同IV」の単位を取得したものに限定される。 2019年度開講せず。
AB72H32	古代西アジア史演習II-a		2	2・3					古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	この科目の受講は「アッカド語初級a」・「同b」もしくは「アッカド語初級I」・「同II」・「同III」・「同IV」の単位を取得したものに限定される。 2019年度開講せず。
AB72H42	古代西アジア史演習II-b		2	2・3					古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	この科目の受講は「アッカド語初級a」・「同b」もしくは「アッカド語初級I」・「同II」・「同III」・「同IV」の単位を取得したものに限定される。 2019年度開講せず。
AB72H52	古代西アジア史演習III-a		2	2・3	春AB	火3,4	10401	山田 重郎, 柴田 大輔	古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	この科目の受講は「アッカド語初級a」・「同b」もしくは「アッカド語初級I」・「同II」・「同III」・「同IV」の単位を取得したものに限定される。 2019年度より2年おき開講。



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB72H62	古代西アジア史演習III-b	2	2.0	3・4	秋AB	火3,4	1C401	山田 重郎, 柴田 大輔	古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	この科目の受講は「アッカド語初級a」・「同b」もしくは「アッカド語初級1」・「同11」・「同111」・「同1V」の単位を取得したものに限定する。 2019年度より2年おき開講。
AB73A12	中国史文献学I-a	2	1.0	1-3					中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための基礎的能力を身につける。	2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB73A22	中国史文献学I-b	2	1.0	1-3					中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための実践的能力を身につける。	2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB73A32	中国史文献学II-a	2	1.0	1-3	春AB	火1	1B304	丸山 宏	中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための基礎的能力を身につける。	2019年度より2年おき開講。
AB73A42	中国史文献学II-b	2	1.0	1-3	秋AB	火1	1B304	丸山 宏	中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための実践的能力を身につける。	2019年度より2年おき開講。
AB73A52	中国史文献学III-a	2	1.0	1-3					中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための基礎的能力を身につける。	2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB73A62	中国史文献学III-b	2	1.0	1-3					中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための実践的能力を身につける。	2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB73C12	満洲語文語基礎-a	2	1.0	1-3	春AB	水3	1B402	岩田 啓介	清朝の公用語である満洲語の文字・文法と満洲語史料の基礎知識を、講義と史料講読を通じて習得する。	西暦奇数年開講。
AB73C22	満洲語文語基礎-b	2	1.0	1-3	秋AB	水3	1B402	岩田 啓介	史料講読を通じて、清朝の公用語である満洲語の文法に関する知識を定着させ、満洲語史料の読解力の向上を図る。	西暦奇数年開講。
AB73C32	満洲語文語-a	2	1.0	1-3					満洲語史料を読み解くための実践的知識を獲得する。	西暦偶数年開講。 2019年度開講せず。
AB73C42	満洲語文語-b	2	1.0	1-3					満洲語史料を読み解くための応用的能力を獲得する。	西暦偶数年開講。 2019年度開講せず。
AB73F11	中国史特講I-a	1	1.0	2-4					清朝前期について解説する。	2019年度開講せず。
AB73F21	中国史特講I-b	1	1.0	2-4					清朝後期について解説する。	2019年度開講せず。
AB73F31	中国史特講II-a	1	1.0	2-4	春AB	月2	1C305	松野 友美	近代の華僑について解説する。	
AB73F41	中国史特講II-b	1	1.0	2-4	秋AB	月2	1C305	松野 友美	近代の華僑について詳述する。	
AB73H12	中国史演習I-a	2	2.0	2	春AB	月3,4	1B201	上田 裕之	中国史サブコースに進むことを希望しない検討している人文学類2年生のゼミ。中国史に関する論文を精読し、研究動向・研究方法に批判的検討を加える。	「中国史文献学」「東洋史文献学」を履修していない学生は、事前に担当教員に申し出ること。
AB73H22	中国史演習I-b	2	2.0	2	秋AB	月3,4	1B201	上田 裕之	中国史サブコースに進むことを希望しない検討している人文学類2年生のゼミ。中国史に関する論文を精読し、研究動向・研究方法に批判的検討を加える。そしてその作業を通して、卒業論文執筆を見据えて自らの研究テーマを設定する。	「中国史文献学」「東洋史文献学」を履修していない学生は、事前に担当教員に申し出ること。
AB73H32	中国史演習II-a	2	2.0	3	春AB	火3,4	1B201	上田 裕之	中国史サブコースに在籍する人文学類3年生のゼミ。自らの研究テーマに関係する先行研究を精読し、そこに批判的検討を加えることを通じて、卒業論文に向けて自らの研究課題を明確化していくことを目標とする。	この科目の受講は「東洋史文献学1a・1b・11a・11b・111a・111b」を既に3.0単位以上取得した中国史サブコース3年生に限る。
AB73H42	中国史演習II-b	2	2.0	3	秋AB	火3,4	1B201	上田 裕之	中国史サブコースに在籍する人文学類3年生のゼミ。自らの研究課題に即して先行研究および史料を調査・収集し、そこに批判的検討を加えることを通じて、卒業論文の骨格を固めることを目標とする。	この科目の受講は「東洋史文献学1a・1b・11a・11b・111a・111b」を既に3.0単位以上取得した中国史サブコース3年生に限る。
AB73H52	中国史演習III-a	2	2.0	4	春AB	応談		上田 裕之	中国史サブコースに在籍する人文学類4年生のゼミ。先行研究批判や史料の読解に習熟することを目指す。	この科目の受講は「東洋史演習1a・1b・11a・11b」を既に3.0単位以上取得した中国史サブコース4年生に限る。
AB73H62	中国史演習III-b	2	2.0	4	秋AB	応談		上田 裕之	中国史サブコースに在籍する人文学類4年生のゼミ。先行研究批判や史料の読解に一層習熟することを目指す。	この科目の受講は「東洋史演習1a・1b・11a・11b」を既に3.0単位以上取得した中国史サブコース4年生に限る。
AB74A12	ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a	2	1.0	1・2	春AB	金5	1C405	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の英文入門書を講読する。	この科目の単位取得が、「ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a」～「ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b」の履修条件になる。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB74A22	ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-b	2	1.0	1・2	秋AB	金5	1C405	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史に関する基礎的な英文研究書・論文を講読する。	この科目の単位取得が、「ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a」～「ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b」の履修条件になる。
AB74C12	ヨーロッパ・アメリカ史文献学I-a	2	1.0	2-4					ヨーロッパ近現代史に関する欧文献を講読する。	2019年度開講せず。
AB74C22	ヨーロッパ・アメリカ史文献学I-b	2	1.0	2-4					ヨーロッパ近現代史に関する欧文献を講読する。	2019年度開講せず。
AB74C32	ヨーロッパ・アメリカ史文献学II-a	2	1.0	2-4	春AB	木4	1C405	村上 宏昭	ヨーロッパ近現代史に関する欧文献を講読する。	西暦奇数年度開講。
AB74C42	ヨーロッパ・アメリカ史文献学II-b	2	1.0	2-4	秋AB	木4	1C405	村上 宏昭	ヨーロッパ近現代史に関する欧文献を講読する。	西暦奇数年度開講。
AB74H12	ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a	2	2.0	3・4					ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限り、2019年度開講せず。
AB74H22	ヨーロッパ・アメリカ史演習I-b	2	2.0	3・4					ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限り、2019年度開講せず。
AB74H32	ヨーロッパ・アメリカ史演習II-a	2	2.0	3・4	春AB	火3,4	1C402	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限り、2019年度より2年おき開講。
AB74H42	ヨーロッパ・アメリカ史演習II-b	2	2.0	3・4	秋AB	火3,4	1C402	村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限り、2019年度より2年おき開講。
AB74H52	ヨーロッパ・アメリカ史演習III-a	2	2.0	3・4					ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限り、2019年度開講せず。
AB74H62	ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b	2	2.0	3・4					ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限り、2019年度開講せず。
AB74K12	ユーラシア史研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		柴田 大輔, 山田 重郎, 上田 裕之, 村上 宏昭	ユーラシア史に関する卒業論文作成の指導を行う。	
AB74K22	ユーラシア史研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		柴田 大輔, 山田 重郎, 上田 裕之, 村上 宏昭	ユーラシア史に関する卒業論文作成の指導を行う。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB74K38	卒業論文(ユーラシア史学)	8	6.0	4	通年	随時		柴田 大輔, 山田 重郎, 上田 裕之, 村上 宏昭	ユーラシア史学に関する卒業論文。	

史学(歴史地理学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB75A11	歴史地誌学-a	1	1.0	2・3	春C	木4,5		中西 僚太郎	日本の地理的諸事象を東日本と西日本、太平洋側と日本海側などの地域差に注目しながら、相互に関連付けて理解する。	西暦奇数年度開講。
AB75A21	歴史地誌学-b	1	1.0	2・3					中国・朝鮮半島を含む東アジアの地理的諸事象を、各事象の大陸と半島、沿岸部と内陸部などの地域差に注目しながら、相互に関連付けて理解する。	西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB75A31	歴史地理学研究法-a	1	1.0	2・3	春AB	火4	10406	中西 僚太郎	歴史地理学研究における近世および近代史料の扱い方について教授する。	西暦奇数年度開講。
AB75A41	歴史地理学研究法-b	1	1.0	2・3	秋AB	火4	10406	中西 僚太郎	歴史地理学研究における読図や作図の方法、GISの活用方法について教授する。	西暦奇数年度開講。
AB75A51	歴史地理学特講-a	1	1.0	2・3	春学期	集中		三木 一彦	ヨーロッパの歴史地理学を、系統地理的な分野別に概観することによって、ヨーロッパの空間的な形成過程について概説する。	欧米歴史地理学講義aの単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。
AB75A61	歴史地理学特講-b	1	1.0	2・3	秋学期	集中		三木 一彦	ヨーロッパの中でも、とくにフランスの歴史地理学を取り上げ、その歴史的展開を時間軸に沿って概説する。	欧米歴史地理学講義bの単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。
AB75B12	歴史地理学文献演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	金4	1B310	中西 僚太郎	歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2019年度より2年おき開講。
AB75B22	歴史地理学文献演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	金4	1B310	中西 僚太郎	歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	2019年度より2年おき開講。
AB75B32	歴史地理学文献演習I-c	2	1.0	2-4	秋C	木4 木5	1B310	中西 僚太郎	歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	受講者は「歴史地理学文献演習I-a」「同b」を修得したものに限る。 2019年度より2年おき開講。
AB75B42	歴史地理学文献演習II-a	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75B52	歴史地理学文献演習II-b	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75B62	歴史地理学文献演習II-c	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75B72	歴史地理学文献演習III-a	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75B82	歴史地理学文献演習III-b	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75B92	歴史地理学文献演習III-c	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75C12	歴史地理学演習I-a	2	2.0	2-4					歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、論文の構成方法、まとめ方などを学ぶ。	2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75C22	歴史地理学演習I-b	2	2.0	2-4					歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75C32	歴史地理学演習II-a	2	2.0	2-4	春AB	木4,5	1B310	中西 僚太郎	歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、論文の構成方法、まとめ方などを学ぶ。	2019年度より2年おき開講。
AB75C42	歴史地理学演習II-b	2	2.0	2-4	秋AB	木4,5	1B310	中西 僚太郎	歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	2019年度より2年おき開講。
AB75C52	歴史地理学演習III-a	2	2.0	2-4					歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、論文の構成方法、まとめ方などを学ぶ。	2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75C62	歴史地理学演習III-b	2	2.0	2-4					歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75E13	歴史地理学実習-A	3	2.0	2-4	通年	集中		中西 僚太郎	歴史地理学研究に必要なとされる文献調査、聞き取り調査や野外観察の方法を現地指導する。	2019年度より2年おき開講。
AB75E23	歴史地理学実習-B	3	2.0	2-4						2020年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75E33	歴史地理学実習-C	3	2.0	2-4						2021年度より2年おき開講。 2019年度開講せず。
AB75K12	歴史地理学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		中西 僚太郎	歴史地理学コースの学生の卒論指導を春学期に即して行う。	
AB75K22	歴史地理学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		中西 僚太郎	歴史地理学コースの学生の卒論指導を秋学期に即して行う。	
AB75K38	卒業論文(歴史地理学)	8	6.0	4	通年	随時		中西 僚太郎	歴史地理学コースの卒業論文である。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

考古学・民俗学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB80A11	先史学概説-a	1	1.0	1・2	春AB	金3	共同利用棟 A101	三宅 裕	人類史を理解するための方法・内容について具体的な事例を提示しつつ解説する。人類の誕生・進化の過程をたどり、いまや人口が70億人になり、地球上のほぼあらゆる場所に生息するようになった私たち自身がどのような存在であるのかを考える。	
AB80A21	先史学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	金3	共同利用棟 A101	三宅 裕	人類史を理解するたえに先史学では何が行われているのか、具体的な事例を扱いながら解説する。環境考古学と呼ばれる分野を中心に、動植物資料を対象にした古環境や生業の分析方法などについて講義する。	
AB80B11	考古学概説-a	1	1.0	1・2	春AB	木3	共同利用棟 A101	常木 晃	考古学とはどのような学問か。人類の始まりから現代までを扱う考古学の射程と限界について、研究の到達点と問題に言及しつつ解説する。特に、考古学の方法について扱う。	
AB80B21	考古学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3	共同利用棟 A101	常木 晃	考古学とはどのような学問か。人類の始まりから現代までを扱う考古学の射程と限界について、研究の到達点と問題に言及しつつ解説する。特に、考古学によって人類の歴史の重要なエポックを語っていく。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB80C11	民俗学概説-a	1	1.0	1・2	春AB	金4	1B208	中野 泰	日本の民俗学の誕生と、20世紀における展開について、柳田国男、桜田勝徳等の研究者を取り上げ、その思想と方法に焦点を当てて概説し、民俗学的思考法の課題と可能性を考察する。	考古学・民俗学専攻希望の学生はAC50E11と合わせて民俗学の専門基礎科目とする。★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB80E11	文化人類学概説-a	1	1.0	1・2	春AB	木4	共同利用棟 A201	内山田 康	諸社会は世界をどのように知覚してきたのか?理解してきたのか?文化的な活動に焦点を当てて、そこに見いだされる人間集団の根本的な問題について考察する。	考古学・民俗学専攻希望の学生はAC50E01と合わせて文化人類学の専門基礎科目とする
AB80E21	文化人類学概説-b	1	1.0	1・2						2019年度開講せず。

考古学・民俗学(先史学・考古学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB81B11	先史学特講I-a	1	1.0	2-4	春AB	月3	1B208	三宅 裕	人間と動植物との関係において、狩猟採集から農耕・牧畜への移行過程を取り上げ、とくに植物利用に焦点を当てて論じていく。	2019年度より3年おきに開講。
AB81B21	先史学特講I-b	1	1.0	2-4	秋AB	月3	1B208	三宅 裕	人間と動植物との関係について、狩猟採集から農耕・牧畜への移行過程を取り上げ、とくに動物利用に焦点を当てて論じていく。	2019年度より3年おきに開講。
AB81B31	先史学特講II-a	1	1.0	2-4					先史学・考古学研究における理論と方法の多様性について、おもに文化史的アプローチ、プロセス考古学的アプローチ、ポストプロセス考古学的アプローチを取り上げて解説する。前提とする理論が異なるれば、研究方法や過去の社会の理解の仕方が異なるものになることを学ぶ。	2020年度から3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB81B41	先史学特講II-b	1	1.0	2-4					先史学・考古学研究における理論・方法について、多様な研究事例を紹介しながらその相違を解説する。回ごとにトピックを設け、文化史的アプローチ、プロセス考古学的アプローチ、ポストプロセス考古学的アプローチによる研究を比較する。	2020年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB81B51	先史学特講III-a	1	1.0	2-4					アナトリア(トルコ)の考古学について、西アジア全体の様相にも目を配りながら講義する。旧石器時代から新石器時代まで。	2021年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB81B61	先史学特講III-b	1	1.0	2-4					アナトリア(トルコ)の考古学について、西アジア全体の様相にも目を配りながら講義する。銅石器時代から青銅器時代まで。	2021年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB81B71	先史学特講IV-a	1	1.0	2-4					ものづくりの新しい技術体系であるパイロテクノロジー(熱加工技術)について、具体的事例に触れながら理解を深める。新石器時代にはすでに始まっていた銅の利用を取り上げる。	2022年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB81B81	先史学特講IV-b	1	1.0	2-4					ものづくりの新しい技術体系であるパイロテクノロジー(熱加工技術)について、具体的事例に触れながら理解を深める。金や銀などの貴金属利用の歴史を取り上げる。	2022年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB81H13	先史学実習-A	3	1.0	2-4	秋学期	集中		三宅 裕, 谷口 陽子, 前田 修	1週間の野外・室内実習を行う。	2019年度より3年おきに開講。
AB81H23	先史学実習-B	3	1.0	2-4					1週間の野外・室内実習を行う。	2020年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB81H33	先史学実習-C	3	1.0	2-4					1週間の野外・室内実習を行う。	2021年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB81H43	先史学実習-D	3	1.0	2-4					1週間の野外・室内実習を行う。	2022年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB82B11	考古学特講I-a	1	1.0	2-4	春AB	月4	共同利用棟 A101	滝沢 誠	日本列島における国家の出現や基層文化の形成を中心テーマとし、古墳をめぐる諸問題について講義を行う。	西暦奇数年度開講。
AB82B21	考古学特講I-b	1	1.0	2-4	秋AB	月4	共同利用棟 A101	滝沢 誠	日本列島における国家の形成を中心テーマとし、古墳時代の社会と文化について講義を行う。	西暦奇数年度開講。
AB82B31	考古学特講II-a	1	1.0	2-4					東アジア世界(おもに朝鮮半島)との交流をテーマとし、古墳時代の社会と文化について講義を行う。	西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB82B41	考古学特講II-b	1	1.0	2-4					古墳時代の鉄製武器・武具をとりあげ、それらが国家形成期の日本列島社会に果たした役割について講義を行う。	西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB82B61	考古学特講III-b	1	1.0	2-4	秋C	木4 木5	共同利用棟 A203	常木 晃	現代文明の基盤を用意した西アジア先史時代の意味と、それを語る文化遺産を護るための方法を議論し理解する。	
AB82H13	考古学実習-A	3	1.0	2-4					1週間の野外実習を行う。	2021年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB82H23	考古学実習-B	3	1.0	2-4					1週間の野外実習を行う。	2022年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB82H33	考古学実習-C	3	1.0	2-4	秋学期	集中		常木 晃, 滝沢 誠	1週間の野外実習を行う。	2019年度より3年おき開講。
AB82H43	考古学実習-D	3	1.0	2-4					1週間の野外実習を行う。	2020年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。
AB83A11	物質資料研究法-a	1	1.0	1・2	春AB	木6	共同利用棟 A202	滝沢 誠	実物資料に触れながら、物質資料研究に必要な室内調査(実測)の基本技術を学ぶ。	
AB83A21	物質資料研究法-b	1	1.0	1・2	秋AB	木6	共同利用棟 A202	滝沢 誠	実物資料に触れながら、考古学研究に必要な室内調査(拓本、写真撮影)および屋外調査(測量)の基本技術を学ぶ。	
AB83A31	物質資料研究法-c	1	1.0	1・2	春C	木6 集中	共同利用棟 A202	滝沢 誠	実物資料に触れながら、考古学研究に必要な調査法の基本技術を学ぶ。	
AB83C11	先史学・考古学外書講読I-a	1	1.0	2・3	春AB	金4	共同利用棟 A202	谷口 陽子	専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。要予習。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員
AB83C21	先史学・考古学外書講読I-b	1	1.0	2・3	秋AB	金4	共同利用棟 A202	谷口 陽子	専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員
AB83C31	先史学・考古学外書講読II-a	1	1.0	2・3					グループごとに専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83C41	先史学・考古学外書講読II-b	1	1.0	2・3					グループごとに専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83E11	考古学方法論I-a	1	1.0	2・3	春AB	金2	1C405	谷口 陽子	考古学研究に用いられる自然科学的な方法論を解説する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員
AB83E21	考古学方法論I-b	1	1.0	2・3	秋AB	金2	1C405	谷口 陽子	先史時代から利用されている物質を、製作技法・材料の点から解説する。	西暦奇数年度開講。 実務経験教員
AB83E31	考古学方法論II-a	1	1.0	2・3					考古民族的な調査法や考古学によって明らかにされつつある物質生産の歴史と技術を解説する。	西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83E41	考古学方法論II-b	1	1.0	2・3					彩色を持つ文化遺産を中心に、古典技法書と考古遺物の化学分析による結果に触れながら考古学的な解釈を行う。	西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83F12	先史学・考古学演習I-a	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2021年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83F22	先史学・考古学演習I-b	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2021年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83F32	先史学・考古学演習I-c	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2021年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。 実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB83F42	先史学・考古学演習II-a	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2022年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83F52	先史学・考古学演習II-b	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2022年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83F62	先史学・考古学演習II-c	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2022年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83G12	先史学・考古学演習III-a	2	1.0	2・3	春AB	火3	1B310	常木 晃, 三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2019年度より3年おきに開講。 実務経験教員
AB83G22	先史学・考古学演習III-b	2	1.0	2・3	秋AB	火3	1B310	常木 晃, 三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2019年度より3年おきに開講。 実務経験教員
AB83G32	先史学・考古学演習III-c	2	1.0	2・3	春C秋C	火3	1B310	常木 晃, 三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2019年度より3年おきに開講。 実務経験教員
AB83G42	先史学・考古学演習IV-a	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2020年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83G52	先史学・考古学演習IV-b	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2020年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83G62	先史学・考古学演習IV-c	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2020年度より3年おきに開講 2019年度開講せず。 実務経験教員
AB83K12	先史学・考古学研究-a	2	2.0	4	春AB 春C	水2	1B310	常木 晃, 三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修	先史学、考古学に関する卒業論文の指導を行う。	実務経験教員
AB83K22	先史学・考古学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	応談		常木 晃, 三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修	先史学、考古学に関する卒業論文の指導を行う。	実務経験教員
AB83K38	卒業論文(先史学・考古学)	8	6.0	4	通年	随時		常木 晃, 三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子	先史学・考古学に関する卒業論文。	実務経験教員

考古学・民俗学(民俗学・文化人類学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB84A11	民俗学特講-a	1	1.0	2-4	春AB	月5	共同利用棟 A201	武井 基晃	民俗学の事例分析を通して、調査の視点・研究の方法の検討を行う。	2018年度以前の民俗学特講a (AB84111)の単位取得者は履修できない。 実務経験教員
AB84A21	民俗学特講-b	1	1.0	2-4	秋AB	月5	共同利用棟 A201	武井 基晃	最新の研究事例を検討し、民俗学の理論的展望を考える。	2018年度以前に民俗学特講a・b (AB84111, AB84121) 両方の単位を取得済みの者は履修できない。 実務経験教員
AB84A31	民俗学特講-c	1	1.0	2-4	春C	月4 月5	共同利用棟 A201	武井 基晃	東アジアの民俗儀礼について講義する	2018年度以前の民俗学特講b (AB84121)の単位取得者は履修できない。 実務経験教員
AB84B11	民俗史料講義-a	1	1.0	2-4	春AB	木3	1B403	武井 基晃	民俗・生活などについて書かれた近世における一般向けの読み物を扱い、民俗学の史料批判のあり方を検討する。	2018年度以前の民俗史料講義Iの単位取得者は履修できない。 西暦奇数年開講。 実務経験教員
AB84B21	民俗史料講義-b	1	1.0	2-4	秋AB	木3	1B403	中野 泰	民俗について書かれた様々な資料を幅広く扱い、民俗学における史料批判のあり方を検討する。	2018年度以前の民俗史料講義Iの単位取得者は履修できない。 西暦奇数年開講。
AB84B31	民俗史料講義-c	1	1.0	2-4	秋C	木3, 4	1B403	武井 基晃	明治時代に刊行された民俗の報告などを中心に、民俗学における史料批判のあり方を検討する。	2018年度以前の民俗史料講義Iの単位取得者は履修できない。 西暦奇数年開講。 実務経験教員
AB84C12	民俗学研究法-a	2	1.0	3	春AB	金3	1C403	徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に課題設定のしかたについて指導を行う。	民俗学を専攻する人文学類生に限る
AB84C22	民俗学研究法-b	2	1.0	3	秋AB	金3	1C403	徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に調査計画の立てかた、調査成果の報告のしかたや論文作成の指導を行う。	民俗学を専攻する人文学類生に限る
AB84C32	民俗学研究法-c	2	1.0	3	春C秋C	金3	1C403	徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に調査成果の分析のしかたや論文作成の指導を行う。	民俗学を専攻する人文学類生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB84E12	民俗学演習-a	2	1.0	2-4	春AB	月3	共同利用棟 A202	武井 基晃	民俗学の最新の論文を検討する。特に論文内の問いと答え、目的と成果を明確に意識して読むことを学ぶ。	人文学類と比較化学類の学生に限る。2018年度以前の民俗学演習ⅠⅠの単位取得者は履修できない。
AB84E22	民俗学演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	月3	共同利用棟 A202	武井 基晃	問い・目的の立て方を軸に論文を読み、構成や事例の提示のしかたなど論文作成の方法を身に付ける。	人文・化学類の学生に限る。2018年度以前の民俗学演習の単位取得者は履修できない。
AB84E32	民俗学演習-c	2	1.0	2-4	秋C	月3,4	共同利用棟 A202	武井 基晃	民俗学の最新の論文について、特に論文の問いと研究史の連関について学ぶ。	人文学類の学生に限る。2018年度以前の民俗学演習の単位取得者は履修できない。
AB84E52	比較民俗学演習-a	2	1.0	2-4	春AB	火3	1B404	中野 泰	民俗学における比較の意義を、外国語文献も含めて輪読し、検討する。	人文学類と比較化学類の学生に限る。2018年度以前の比較民俗学演習ⅠⅠの単位取得者は履修できない。
AB84E62	比較民俗学演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	火3	1B404	中野 泰	民俗学における比較の意義を、テーマ研究発表・ディスカッションを通じて考察する。	人文学類の学生に限る。2018年度以前の比較民俗学演習の単位取得者は履修できない。
AB84E72	比較民俗学演習-c	2	1.0	2-4	春C	火3,4	1B404	中野 泰	民俗学における比較の理論的位置づけについて、議論を行い、その位置づけを表現する作法を身に付ける。	人文学類の学生に限る。2018年度以前の比較民俗学演習の単位取得者は履修できない。
AB84F11	民俗学調査法-A	1	1.0	2-4	春BC	水6	1B408	徳丸 亜木、中野 泰、武井 基晃	民俗学のフィールドワークの調査法について、実際に調査に出るために不可欠な事前指導を行う。民俗学を専攻(希望)する学生を対象とし、民俗学の専門基礎科目の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。
AB84F21	民俗学調査法-B	1	1.0	2-4					民俗調査のフィールドワークに実際に出ることを想定し、調査法について事前準備を行う。民俗学を専攻(希望)する学生を対象とし、民俗学の専門基礎科目の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 2019年度開講せず。
AB84G15	民俗学実習-A	5	2.0	2-4	秋ABC 秋学期	水6 集中	1B408	徳丸 亜木、中野 泰、武井 基晃	秋に合宿してフィールドワークを行う。民俗学を専攻(希望)する学生を対象とする。民俗学の専門基礎科目、春学期の民俗学調査法の履修および事前学習への積極的な出席、夏季休業中に課すレポートの提出が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 含野外調査
AB84G25	民俗学実習-B	5	2.0	2-4					秋に合宿してフィールドワークを行う。民俗学を専攻(希望)する学生を対象とする。民俗学の専門基礎科目、春学期の民俗学調査法の履修および事前学習への積極的な出席、夏季休業中に課すレポートの提出が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 2019年度開講せず。 含野外調査
AB85A11	文化人類学講義Ⅰ-a	1	1.0	2-4	春AB	木5	共同利用棟 A102	濱谷 真理子	人類学はフィールドワークと先行の民族誌と理論の間のインタラクティブな関係から生まれる。フィールドワークで得られたデータをどの記述概念を使って記述して、どの分析概念を使って考察するのかが、極めて重要だ。民族誌を批判的に使いながら、人類学における概念の役割について考察する。	2018年度以前の文化人類学講義Ⅰa(AB85111)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。
AB85A21	文化人類学講義Ⅰ-b	1	1.0	2-4	秋AB	木5	共同利用棟 A102	内山田 康	文化人類学の理論において、文化のエッセンスおよび社会の基本的な構造は自明の前提なのだろうか?まずこの前提について検討する。次にこれを前提としない様々なアプローチを批判的に考察する。	2018年度以前の文化人類学講義Ⅰb(AB85121)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 英語で講義する
AB85A31	文化人類学講義ⅠⅠ-a	1	1.0	2-4						2018年度以前の文化人類学講義ⅠⅠa(AB85131)の単位取得者は履修できない。 2019年度開講せず。
AB85A41	文化人類学講義ⅠⅠ-b	1	1.0	2-4						2018年度以前の文化人類学講義ⅠⅠb(AB85141)の単位取得者は履修できない。 2019年度開講せず。
AB85E12	文化人類学演習Ⅰ-a	2	1.0	2-4	春AB	金4	1C404	内山田 康	人類学の様々な民族誌を取り上げて、問題の立て方、記述の方法、根拠として使われたデータ、分析概念、導かれた答えについて批判的に検討を加えた上で、民族誌の読み方と書き方を考察する。	2018年度以前の文化人類学演習Ⅰa(AB85412)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。
AB85E22	文化人類学演習Ⅰ-b	2	1.0	2-4						2018年度以前の文化人類学演習Ⅰb(AB85422)の単位取得者は履修できない。 2019年度開講せず。
AB85E32	文化人類学演習ⅠⅠ-a	2	1.0	2-4	秋AB	金4	1C404	内山田 康	クロード・レヴィ=ストロース、ヴィクター・ターナー、マーシャル・サーリンス、ピエール・ブルデュー他の古典を読み、それがどのような問題に答えようとしていたのかを考察する。	2018年度以前の文化人類学演習ⅠⅠa(AB85432)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB85E42	文化人類学演習II-b	2	1.0	2 - 4						2018年度以前の文化人類学演習IIb (AB85442)の単位取得者は履修できない。 2019年度開講せず。
AB85F11	文化人類学調査法-A	1	1.0	2 - 4	春AB	水6	1B402	内山田 康	人類学の主要な研究テーマと調査方法の関係について文献を読みつつ調査を行い、様々な調査方法の応用可能性と限界について考察する。事前に文化人類学の専門基礎科目を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。
AB85F21	文化人類学調査法-B	1	1.0	2 - 4						人文学類の学生に限る 2019年度開講せず。
AB85G15	文化人類学実習-A	5	2.0	2 - 4	秋ABC 秋学期	水6 集中	1B402	内山田 康	フィールドワークの研究計画書を準備した後、5日～6日程度のフィールドワークを集中的に行う。その後、民族誌を執筆して発表する。 春学期に文化人類学調査法を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 含野外調査
AB85G25	文化人類学実習-B	5	2.0	2 - 4						人文学類の学生に限る 2019年度開講せず。
AB86K12	民俗学・文化人類学研究-a	2	2.0	4	春ABC	応談		内山田 康, 徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃		
AB86K22	民俗学・文化人類学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	応談		内山田 康, 徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃		
AB86K38	卒業論文(民俗学・文化人類学)	8	6.0	4	通年	随時		内山田 康, 徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃		

言語学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB90A11	言語学概論-a	1	1.0	1	春AB	火1	1B308	池田 潤	世界の多様な言語を概観した上で、言語とは何かについてともに考える。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB90A21	言語学概論-b	1	1.0	1	秋AB	火1	1B308	池田 潤	言語の音韻、語形、構文、意味を分析するための基礎知識を学び、それらを未知の言語データに適用して初歩的な言語分析を体験する。	
AB90A31	音声学概論	1	1.0	1	春AB	木4	共同利用棟 A101	黄 賢暲	This course provides an introduction to the study of human speech sounds. Various aspects of speech production and perception will be discussed, involving articulatory apparatus, phonetic transcription, and basic acoustics of speech.	英語で授業。
AB90A41	言語学概論-c	1	1.0	-	秋C	集中		池田 潤	言語学史を追体験した上で、言語学の研究対象やアプローチにどのような選択肢があるかを学ぶ。	2018年度以前の入学者に限り受講可
AB90A51	音声学概論-b	1	1.0	1	秋AB	木4	共同利用棟 A101	黄 賢暲	This course focuses on the acoustic nature of speech, with special attention to the source-filter theory and the relation between airflow and turbulence.	2018年度以前の入学者に限り受講可 英語で授業。
AB90A61	音声学概論-c	1	1.0	-	秋C	集中		黄 賢暲	Beyond segments, this course covers suprasegmentals of speech sounds and their acoustic correlates. Perceptual aspects of prosody will be also addressed.	2018年度以前の入学者に限り受講可 英語で授業。
AB90B11	応用言語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	火6	共同利用棟 A203	磐崎 弘貞, 久保田 章, 卯城 祐司, 平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子	応用言語学全般にわたり概説する。	
AB90B21	応用言語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火6	共同利用棟 A203	磐崎 弘貞, 久保田 章, 卯城 祐司, 平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子	応用言語学全般にわたり概説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB90B31	応用言語学概論-c	1	1.0	1・2	春C	火5, 6	共同利用棟 A203	磐崎 弘貞, 久保田 章, 卯城 祐司, 平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子	応用言語学全般にわたり概説する。	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。
AB90C11	日本語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	木6	共同利用棟 A201	橋本 修	日本語の、主として社会的側面について解説する。日本語に関する社会調査の例も方法についても一部取り扱う。	G科目
AB90C21	日本語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	木6	共同利用棟 A201	矢澤 真人	現代日本語を題材に、文法論に関わる基本的な知識を身につけるとともに、日本語の観察の仕方や分析の仕方を習得する。	G科目



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB90C31	日本語学概論-c	1	1.0	2-4	春C秋C	木6	共同利用棟 A201	矢澤 真人	国語教育や日本語教育、辞書編集、日本語入力システムなど、現代の日本語の現場の状況と課題について検討する。	2018年度以前入学の人文系学生に限る G科目
AB90E11	中国語学概論	1	1.0	1-2	秋AB	木5	1B302	佐々木 勲人	中国語・中国語学の基礎知識や研究の方法について学ぶ。	
AB90F11	英語学概論-a	1	1.0	1-2	春AB	火5	共同利用棟 A203	廣瀬 幸生	ことばの一定の形式(音調・強勢も含む)に対して意味がどのような規則性で対応するかという問題について、文法化などの通時変化も考慮しながら検討する。特に、高校までに習った英文法の知識をもとに扱える現象を中心に概観し、英語の意味理解を深めるとともに、意味研究の面白さを伝える。	履修制限を設けることがある。
AB90F21	英語学概論-b	1	1.0	1-2	秋AB	火5	共同利用棟 A203	加賀 信広	英語の統語的特性および形態的特性を、日本語や古い英語と対比させながら概観し、形式が語順などの統語面や形態などの語義面にどのように反映されているかについて考える。また、英語の方言や多様性、他言語との接触についても検討し、国際共通語としての姿を理解する。	履修制限を設けることがある。★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文系学生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)
AB90F31	英語学概論-c	1	1.0	1-2	秋C	集中		廣瀬 幸生, 加賀 信広	言語学的視点から英語という個別言語の基本的な性質について考察するとともに、具体的な言語現象の検討を通して英語学に関する基礎的知識や思考法・方法論について習熟する。	履修制限を設けることがある。2018年度以前入学者のみ受講可。
AB90G11	仏語学概論	1	1.0	1	春C	集中		青木 三郎	フランス語の特徴をふまえながら、フランス語学について概説する。	
AB90H11	独語学概論	1	1.0	1-2	春AB	金5	1B202	伊藤 真, 大矢 俊明	ドイツ語・ゲルマン語に関心のある者を対象にドイツ語を学び、研究するための基本的知識・概念について講義し、ドイツ語の特徴を明らかにする。	CEGLOG開設の「ドイツ語基礎」を履修していないでも受講できる。
AB90J11	露語学概論	1	1.0	1-2	春AB	木5	1B301	臼山 利信	主にロシア語の音声と語形成を中心に外観し、それらの基礎を学習する。	

言語学(一般言語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB91A11	実験音声学	1	1.0	2-3	春AB	木5	1C206	黄 賢暉	This course provides training in designing and running a basic phonetic experiment, analyzing quantitative speech data and interpreting the results.	英語で授業。
AB91A21	実験言語学	1	1.0	2-3	秋AB	木5	1C206	黄 賢暉	This course introduces a range of experimental research across different domains in linguistics, and provide the basics of experimental approaches. Students are expected to be able to make empirical observations for theoretical generalizations.	英語で授業。
AB91A31	記述言語学	1	1.0	2-3	春AB	金3	1B201	池田 潤	未知の言語のデータを収集し、その音素体系を発見するための方法を身につける。	西暦奇数年開講。
AB91A41	記述言語学-b	1	1.0	2-3	秋AB	金3	1B201	池田 潤	未知の言語のデータを収集し、その文法を発見するための方法を身につける。	2018年度以前の入学者に限り受講可 西暦奇数年開講。
AB91A51	歴史言語学	1	1.0	2-3					さまざまな言語を例に、音法則と失われた言語を復元する方法を学ぶ。	2019年度開講せず。 西暦偶数年開講。
AB91A61	歴史言語学-b	1	1.0	2-3					さまざまな言語を例に、言語変化の諸相、規則性、要因等を論じる。	2018年度以前の入学者に限り受講可 2019年度開講せず。 西暦偶数年開講。
AB91A71	実験言語・音声学	1	1.0	2-3	秋C	集中		黄 賢暉	This course provides advanced analytic skills including Praat scripting and statistical analyses. Each student will carry out a research project in experimental phonetics/linguistics.	2018年度以前の入学者に限り受講可 英語で授業。
AB91A81	言語政策論-a	1	1.0	2-3						2019年度開講せず。
AB91A91	言語政策論-b	1	1.0	2-3						2019年度開講せず。
AB91B12	一般言語学演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	金5	1C402	池田 潤	Language Files (Ohio State University Press, 2016) を学生主体の演習形式で講読する。これを通して言語学の諸問題を探求し、研究テーマ発掘の一助とする。	2019年度より2年おき開講。
AB91B22	一般言語学演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	金5	1C402	池田 潤	受講生の自由研究について学生主体の演習形式で論じ合う。これにより、問題点を見いだす能力、先行研究を整理・批判する能力、新たな知見を生み出し、それを説得的に伝達する能力を身につける。	2019年度より2年おき開講。
AB91B32	一般言語学演習II-a	2	1.0	2-4					Language Files (Ohio State University Press, 2016) を学生主体の演習形式で講読する。これを通して言語学の諸問題を探求し、研究テーマ発掘の一助とする。	2019年度開講せず。 2020年度より2年おきに開講。
AB91B42	一般言語学演習II-b	2	1.0	2-4					受講生の自由研究について学生主体の演習形式で論じ合う。これにより、問題点を見いだす能力、先行研究を整理・批判する能力、新たな知見を生み出し、それを説得的に伝達する能力を身につける。	2019年度開講せず。 2020年度より2年おきに開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB91B52	一般言語学演習III-a	2	1.0	2-4					Language Files (Ohio State University Press, 2016) を学生主体の演習形式で講読する。これを通して言語学の諸問題を探求し、研究テーマ発掘の一助とする。	2019年度開講せず。2021年度より2年おきに開講。
AB91B62	一般言語学演習III-b	2	1.0	2-4					受講生の自由研究について学生主体の演習形式で論じ合う。これにより、問題点を見いだす能力、先行研究を整理・批判する能力、新たな知見を生み出し、それを説得的に伝達する能力を身に付ける。	2019年度開講せず。2021年度より2年おきに開講。
AB91B72	一般言語学演習I-c	2	1.0	2-4	春C	集中		池田 潤	Language Files (Ohio State University Press, 2016) を学生主体の演習形式で講読する。これを通して言語学の諸問題を探求し、研究テーマ発掘の一助とする。	2018年度以前の入学者に限り受講可 2019年度より2年おきに開講。
AB91B82	一般言語学演習II-c	2	1.0	2-4					Language Files (Ohio State University Press, 2016) を学生主体の演習形式で講読する。これを通して言語学の諸問題を探求し、研究テーマ発掘の一助とする。	2018年度以前の入学者に限り受講可 2019年度開講せず。 2020年度より2年おきに開講。
AB91B92	一般言語学演習III-c	2	1.0	2-4					Language Files (Ohio State University Press, 2016) を学生主体の演習形式で講読する。これを通して言語学の諸問題を探求し、研究テーマ発掘の一助とする。	2018年度以前の入学者に限り受講可 2019年度開講せず。 2021年度より2年おきに開講。
AB91C12	一般言語学特殊演習I-a	2	1.0	2-4					言語的特徴に留意しつつヘブル語聖書からの抜粋を講読する。	2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB91C22	一般言語学特殊演習I-b	2	1.0	2-4					一般言語学におけるケーススタディーとして、アッカド語に関する言語学的なトピックを扱う。	2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB91C32	一般言語学特殊演習I-c	2	1.0	2-4					一般言語学におけるケーススタディーとして、ヘブル語に関する言語学的なトピックを扱う。	2018年度以前の入学者に限り受講可 2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB91E72	ヘブル語初級-a	2	1.0	1-4	春AB	木3	1B201	池田 潤	ヘブル文字を学んだ上で、聖書ヘブル語の基礎を学ぶ。	西暦奇数年度開講。
AB91E82	ヘブル語初級-b	2	1.0	1-4	秋AB	木3	1B201	池田 潤	引き続き聖書ヘブル語の文法を学ぶ。	西暦奇数年度開講。
AB91E92	ヘブル語初級-c	2	1.0	1-4	春C	集中		池田 潤	聖書ヘブル語への理解を深める。	2018年度以前の入学者に限り受講可 西暦奇数年度開講。
AB91K12	一般言語学研究-a	2	2.0	4	春学期	随時		池田 潤, 佐々木 勲人, 池田 晋, 青木 三郎, 伊藤 真, 大矢 俊明, 住大 恭康, 臼山 利信	卒業研究の構想と資料の収集・分析に関する指導を行う。	
AB91K22	一般言語学研究-b	2	2.0	4	秋学期	随時		池田 潤, 佐々木 勲人, 池田 晋, 青木 三郎, 伊藤 真, 大矢 俊明, 住大 恭康, 臼山 利信	卒業論文の書き方に関する指導を行う。	
AB91K38	卒業論文(一般言語学)	8	6.0	4	通年	随時		池田 潤, 佐々木 勲人, 池田 晋, 青木 三郎, 伊藤 真, 大矢 俊明, 住大 恭康, 臼山 利信	一般言語学に関する卒業論文。	
AB94A31	中国語学講義-a	1	1.0	2・3	春AB	金4	1C505	池田 晋	中国語彙論について講義をおこなう。基本的な概念や考え方を整理し、理解を深めたくて、近年の語彙研究の動向を紹介する。	2019年度より2年おきに開講。
AB94A32	中国語演習-a	2	1.0	2・3	春AB	月6	1C504	池田 晋	日本語文の中国語への翻訳や、自由作文などの訓練を通して、中国語作文能力の向上を目指す。	2019年度より2年おきに開講。
AB94A41	中国語学講義-b	1	1.0	2・3	秋AB	金4	1C505	池田 晋	中国語文法の中でもとくに学習者にとって理解の難しいアスペクト、ヴォイスなどの側面を中心に講義をおこなう。基本的な概念や考え方を整理し、理解を深めたくて、最新の研究動向を紹介する。	2019年度より2年おきに開講。
AB94A42	中国語演習-b	2	1.0	2・3	秋AB	月6	1C504	池田 晋	日本語文の中国語への翻訳や、自由作文などの訓練を通して、中国語作文能力を向上させる。	2019年度より2年おきに開講。
AB94A61	中国語学講義-c	1	1.0	2・3	秋C	集中		池田 晋	中国語文法に関する諸問題について講義をおこなう。基本的な概念や考え方を整理し、理解を深めたくて、最新の研究動向を紹介する。	2019年度より2年おきに開講。
AB94A62	中国語演習-c	2	1.0	2・3	秋C	集中		池田 晋	日本語文の中国語への翻訳や、自由作文などの訓練を通して、中国語作文能力をさらに向上させる。	2019年度より2年おきに開講。
AB94B11	中国語学特講-a	1	1.0	3・4	春AB	月4	1C401	池田 晋	中国語の研究に関するいくつかのテーマを具体的な事例を通して考える。	旧中国語学コース所属学生のみ受講可 西暦奇数年度開講。
AB94B12	中国語学演習I-a	2	1.0	3・4	春AB	木2	1C401	佐々木 勲人	中国東南方言の基礎的構文を学ぶことを通して、方言文法研究の手法を身につける。	西暦奇数年度開講。
AB94B21	中国語学特講-b	1	1.0	3・4	秋AB	月4	1C401	池田 晋	中国語の研究に関するいくつかのテーマを具体的な事例を通して考える。	旧中国語学コース所属学生のみ受講可 西暦奇数年度開講。
AB94B22	中国語学演習I-b	2	1.0	3・4	秋AB	木2	1C401	佐々木 勲人	中国東南方言の基礎的構文を学ぶことを通して、方言文法研究の手法を身につける。	西暦奇数年度開講。
AB94B31	中国語学特講-c	1	1.0	3・4	秋C	集中		佐々木 勲人	中国語の研究に関するいくつかのテーマを具体的な事例を通して考える。	旧中国語学コース所属学生のみ受講可 西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB94B52	中国語学演習I-c	2	1.0	3・4	秋C	集中		佐々木 勲人	中国東南方言の基礎的構文を学ぶことを通して、方言文法研究の手法を身につける。	西暦奇数年度開講。
AB96A11	仏語音声学・音韻論-a	1	1.0	1・2	春AB	金5	1B404	木島 愛	フランス語の発音の正確な認識を目的として、その基本的知識の講義・実習を行なう。	
AB96A21	仏語音声学・音韻論-b	1	1.0	1・2	秋BC	金5	1B404	木島 愛	仏語音声学・音韻論-aにつづき、フランス語の発音の正確な認識を目的として、その基本的知識の講義・実習を行なう。	
AB96A31	仏語音声学・音韻論-c	1	1.0	1・2	春C	集中		木島 愛	仏語音声学・音韻論-a、仏語音声学・音韻論-bと関連づけ、フランス語の発音の正確な認識を目的として、その基本的知識の講義・実習を行なう。	2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96A41	仏語文法論-a	1	1.0	3	春AB	月4	1B301	青木 三郎	フランス語の文法的現象をどのように記述し説明するかを考える。	
AB96A51	仏語文法論-b	1	1.0	3	秋AB	月4	1B301	青木 三郎	仏語文法論-aにつづき、フランス語の文法的現象をどのように記述し説明するかを考える。	
AB96A61	仏語文法論-c	1	1.0	3	秋C	集中		青木 三郎	仏語文法論-a、仏語文法論-bと関連づけながら、フランス語の文法的現象をどのように記述し説明するかを考える。	2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96A71	仏語意味論-a	1	1.0	3	春AB	金3	1B303	木島 愛	具体的な事例研究に即して、フランス語意味論・語用論の研究手法、主要概念を知ることをめざす。	
AB96A81	仏語意味論-b	1	1.0	3	秋AB	金3	1B303	木島 愛	仏語意味論-aにつづき、具体的な事例研究に即し、フランス語意味論・語用論の研究手法、主要概念を知ることをめざす。	
AB96A91	仏語意味論-c	1	1.0	3	春C	集中		木島 愛	仏語意味論-a、仏語意味論-bと関連させ、具体的な事例研究に即し、フランス語意味論・語用論の研究手法、主要概念を知ることをめざす。	2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96B01	仏語史講義-a	1	1.0	3	春AB	金2	1B401	木島 愛	フランス語の通時的変遷を理解し、その動因を考える。文献講義もあわせて行なう。	2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96B11	仏語史講義-b	1	1.0	3	秋AB	金2	1B401	木島 愛	仏語史講義-aにつづき、フランス語の通時的変遷を理解し、その動因を考える。文献講義もあわせて行なう。	2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96B21	仏語史講義-c	1	1.0	3	秋C	集中		木島 愛	仏語史講義-a、仏語史講義-bと関連させ、フランス語の通時的変遷を理解し、その動因を考える。文献講義もあわせて行なう。	2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96C12	仏語学演習I-a	2	1.0	3・4					フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
AB96C22	仏語学演習I-b	2	1.0	3・4					仏語学演習I-bにつづき、フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
AB96C32	仏語学演習I-c	2	1.0	3・4					仏語学演習I-a、仏語学演習I-bと関連させ、フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。 2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96C42	仏語学演習II-a	2	1.0	3・4	春AB	月3	1B310	青木 三郎	フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦奇数年度開講。
AB96C52	仏語学演習II-b	2	1.0	3・4	秋AB	月3	1B310	青木 三郎	仏語学演習II-aにつづき、フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦奇数年度開講。
AB96C62	仏語学演習II-c	2	1.0	3・4	秋C	集中		青木 三郎	仏語学演習II-a、仏語学演習II-bと関連させ、フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦奇数年度開講。 2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96F11	仏語文法講義-a	1	1.0	2	春AB	金4	1B404	木島 愛	フランス語学習歴2年目の学生をおもな対象として、中級文法の知識や構文の読み解きかたを講義するとともに、比較的平易な文章を精読する。	
AB96F21	仏語文法講義-b	1	1.0	2	秋AB	金4	1B404	木島 愛	仏語文法講義-aにつづき、フランス語学習歴2年目の学生をおもな対象として、中級文法の知識や構文の読み解きかたを講義するとともに、比較的平易な文章を精読する。	
AB96F31	仏語文法講義-c	1	1.0	2	春C	集中		木島 愛	仏語文法講義-a、仏語文法講義-bと関連させ、フランス語学習歴2年目の学生をおもな対象として、中級文法の知識や構文の読み解きかたを講義するとともに、比較的平易な文章を精読する。	2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96F52	仏語演習-a	2	1.0	2・3	春AB	水2	1B309	増尾 弘美	現代フランス文学作品を読み、文体と語法について解説する。	
AB96F62	仏語演習-b	2	1.0	2・3	秋AB	水2	1B309	増尾 弘美	仏語演習-aにつづき、現代フランス文学作品を読み、文体と語法について解説する。	
AB96F72	仏語演習-c	2	1.0	2・3	春C	水1,2	1B309	増尾 弘美	仏語演習-a、仏語演習-bと関連させ、現代フランス文学作品を読み、文体と語法について解説する。	2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB97A11	ドイツ語文法論・統語論-a	1	1.0	2・3	春AB	水3	1B201	大矢 俊明	専門文献を読みながら、ドイツ語の文構造に関する基本的な知識を修得する。	西暦奇数年度開講。
AB97A21	ドイツ語文法論・統語論-b	1	1.0	2・3	秋AB	水3	1B201	大矢 俊明	専門文献を読みながら、ドイツ語における文構造と情報構造の関連性を議論する。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB97A31	ドイツ語意味論・語用論-a	1	1.0	2・3					現代ドイツ語に関する意味論・語用論について概説する。特に語・句・文の理解に重点を置く。	2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97A41	ドイツ語意味論・語用論-b	1	1.0	2・3					現代ドイツ語に関する意味論・語用論について概説する。特に発話の理解に重点を置く。	2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97A51	ドイツ語文法論・統語論-c	1	1.0	2・3	秋学期	集中		大矢 俊明	専門文献を読みながら、ドイツ語と他言語の文構造を比較する。	2018年度以前入学者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。
AB97A61	ドイツ語意味論・語用論-c	1	1.0	2・3					現代ドイツ語に関する意味論・語用論について概説する。特にテキストの理解に重点を置く。	2018年度以前入学者のみ受講可。 2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97B11	ドイツ語学講義I-a	1	1.0	2・3	春AB	月3	1B304	住大 恭康	ドイツ語学におけるいくつかのトピック(時制・法など)を講義し、日本語や英語との比較対照を行う。	西暦奇数年度開講。
AB97B21	ドイツ語学講義I-b	1	1.0	2・3	秋AB	月3	1B304	住大 恭康	ドイツ語学におけるいくつかのトピック(態・語順など)を講義し、日本語や英語との比較対照を行う。	西暦奇数年度開講。
AB97B31	ドイツ語学講義II-a	1	1.0	2・3					ドイツ語学に含まれる基本的研究分野や専門用語などドイツ語学に関する基本的事項を、ドイツ語文献を利用しながら講義する。	2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97B41	ドイツ語学講義II-b	1	1.0	2・3					ドイツ語学の基本的概念の習得を継続して行い、併せてドイツ語学関係文献の精読能力の向上も目指す。	2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97B71	ドイツ語学講義I-c	1	1.0	2・3	秋学期	集中		住大 恭康	ドイツ語学におけるいくつかのトピックを講義し、日本語や英語との比較対照を行う。	2018年度以前入学者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。
AB97B81	ドイツ語学講義II-c	1	1.0	2・3					ドイツ語学研究におけるトピックについて研究方法なども含めて講義し、あわせて研究テーマの設定についても指導する。	2018年度以前入学者のみ受講可。 2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97F12	ドイツ語演習I-a	2	1.0	1-3					中級程度の文法知識の復習をしながら、読解能力を高める。	2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97F22	ドイツ語演習I-b	2	1.0	1-3					中級程度の文法知識をもとに読解能力を高める。	2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97F32	ドイツ語演習II-a	2	1.0	2・3	春AB	火4	1B204	住大 恭康	中級程度の文法知識の復習をしながら、作文能力を高める。	西暦奇数年度開講。
AB97F42	ドイツ語演習II-b	2	1.0	2・3	秋AB	火4	1B204	住大 恭康	中級程度の文法知識をもとに作文能力を高める。	西暦奇数年度開講。
AB97F52	ドイツ語演習I-c	2	1.0	1-3					様々なタイプの文章に触れて、読解能力を高める。	2018年度以前入学者のみ受講可。 2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97F62	ドイツ語演習II-c	2	1.0	2・3	秋学期	集中		住大 恭康	様々なテーマについて作文することにより、発信能力を高める。	2018年度以前入学者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。
AB97G12	ドイツ語学演習I-a	2	1.0	2・3	春AB	火3	1B204	伊藤 真	基本文献を読みながら、ドイツ語学における重要な概念を修得する。	西暦奇数年度開講。
AB97G22	ドイツ語学演習I-b	2	1.0	2・3	秋AB	火3	1B204	伊藤 真	基本文献を読みながら、ドイツ語学における重要な概念ならびに方法論を修得する。	西暦奇数年度開講。
AB97G32	ドイツ語学演習II-a	2	1.0	3・4					文法論・統語論に関する論文を講読しながら、既存の研究を批判的に検討する。	2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97G42	ドイツ語学演習II-b	2	1.0	3・4					意味論に関する論文を講読しながら、既存の研究を批判的に検討する。	2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB97G52	ドイツ語学演習I-c	2	1.0	2・3	秋学期	集中		伊藤 真	基本文献を読みながら、ドイツ語学における重要な概念、方法論、あわせて議論の仕方を修得する。	2018年度以前入学者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。
AB97G62	ドイツ語学演習II-c	2	1.0	3・4					論文を講読しながら、ドイツ語と他言語(英語・日本語)を比較・対照する。	2018年度以前入学者のみ受講可。 2019年度開講せず。 西暦偶数年度開講。
AB98A11	露語文法論-a	1	1.0	2	春AB	水3	1B203	臼山 利信	ロシア語文法に関する主要事項の全体的把握を目指す。ここでは、単数形と複数形、名詞・形容詞変化と動詞変化について丁寧に解説する。	
AB98A21	露語文法論-b	1	1.0	2	秋AB	水3	1B203	臼山 利信	ロシア語文法に関する主要事項の全体的把握を目指す。ここでは、動詞の体と時制、無人称文と不定人称文について丁寧に解説する。	
AB98A31	露語音声学・音韻論-a	1	1.0	2・3	春AB	木6	1B203	臼山 利信	ロシア語音声資料を適宜用いながら、概括的な内容を含むロシア語の関連文献を丁寧に読み、ロシア語の音声に関する研究のあり方を整理・検討する。	西暦奇数年度開講。
AB98A41	露語音声学・音韻論-b	1	1.0	2・3	秋AB	木6	1B203	臼山 利信	ロシア語音声資料を適宜用いながら、概括的な内容を含むロシア語の関連文献を丁寧に読み、ロシア語の音声に関する研究のあり方を整理・検討する。	西暦奇数年度開講。
AB98A51	露語文法論-c	1	1.0	2	春C秋C	水3	1B203	臼山 利信	ロシア語文法に関する主要事項の全体的把握を目指す。ここでは命令法、仮定法、形動詞と副動詞、関係代名詞について丁寧に解説する。	
AB98A61	露語音声学・音韻論-c	1	1.0	2・3	春C秋C	木6	1B203	臼山 利信	ロシア語音声資料を適宜用いながら、概括的な内容を含むロシア語の関連文献を丁寧に読み、ロシア語の音声に関する研究のあり方を整理・検討する。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB98A71	露語学特講-a	1	1.0	2-4					ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する。	開講する場合には後日周知する。西暦偶数年度開講。ロシア語で授業。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。ロシア語で授業。2019年度開講せず。
AB98A81	露語学特講-b	1	1.0	2-4					ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する。露語学特講aとは異なるテキストを使用する。	開講する場合には後日周知する。西暦偶数年度開講。ロシア語で授業。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。ロシア語で授業。2019年度開講せず。
AB98A91	露語学特講-c	1	1.0	2-4	通年	集中		臼山 利信	ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する	開講する場合には後日周知する。西暦偶数年度開講。ロシア語で授業。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。ロシア語で授業。
AB98B11	ロシア言語文化特講-a	1	1.0	2-4						2019年度開講せず。
AB98B21	ロシア言語文化特講-b	1	1.0	2-4						2019年度開講せず。
AB98B31	ロシア言語文化特講-c	1	1.0	2-4						2019年度開講せず。
AB98E01	ロシアの言語と文化-a	1	1.0	2-4	通年	集中			言語を中心に、文学、文化、歴史、社会という5つの視点から多様な「ロシア世界」の諸相を紹介し、その研究者や奥深さの一端を味わう。講師は気鋭の研究者(非常勤)が担当する。	開講する場合には後日周知する。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。
AB98E11	ロシアの言語と文化-b	1	1.0	2-4	通年	集中			言語を中心に、文学、文化、歴史、社会という5つの視点から多様な「ロシア世界」の諸相を紹介する。ロシアの言語と文化aとは、内容は異なる。	開講する場合には後日周知する。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。
AB98E21	ロシアの言語と文化-c	1	1.0	2-4	通年	集中			言語を中心に、文学、文化、歴史、社会という5つの視点から多様な「ロシア世界」の諸相を紹介する。	開講する場合には後日周知する。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。
AB98E31	スラヴの言語と文化-a	1	1.0	3・4	通年	集中			スラヴ諸語の中から1言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	開講する場合には後日周知する。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。
AB98E41	中央アジアの言語と文化-a	1	1.0	3・4	通年	集中			中央アジアの諸言語から一つの言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	開講する場合には後日周知する。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。
AB98E51	中央アジアの言語と文化-b	1	1.0	3・4	通年	集中			中央アジアの諸言語から一つの言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	開講する場合には後日周知する。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。
AB98E61	中央アジアの言語と文化-c	1	1.0	3・4	通年	集中			中央アジアの諸言語から一つの言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	開講する場合には後日周知する。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。
AB98E72	ロシア語演習III-a	2	1.0	2-4	通年	集中			小説や詩などを言語材料として取り上げ、文学的表現手法について、ロシア語学的な視点からロシア語の構造と機能の相関性についての理解を深める。	開講する場合には後日周知する。ロシア語で授業。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。ロシア語で授業。
AB98E82	ロシア語演習III-b	2	1.0	2-4	通年	集中			小説や詩などを言語材料として取り上げ、文学的表現手法について、ロシア語学的な視点からロシア語の構造と機能の相関性についての理解を深める。	開講する場合には後日周知する。ロシア語で授業。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。ロシア語で授業。
AB98E92	ロシア語演習III-c	2	1.0	2-4	通年	集中			小説や詩などを言語材料として取り上げ、文学的表現手法について、ロシア語学的な視点からロシア語の構造と機能の相関性についての理解を深める。	開講する場合には後日周知する。ロシア語で授業。原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。ロシア語で授業。
AB98F42	ロシア語演習I-a	2	1.0	1・2	春AB	木4	1B204	ポイツォフ イヴァン アルセンチエ ヴィチ	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。	ロシア語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB98F52	ロシア語演習I-b	2	1.0	1・2	秋AB	木4	1B204	ポイツォフ イヴァン アルセンチエ ヴィチ	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。ロシア語演習Iaとは異なるテキストを使用する。	ロシア語で授業。
AB98F62	ロシア語演習I-c	2	1.0	1・2	春C秋C	木4	1B204	ポイツォフ イヴァン アルセンチエ ヴィチ	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。ロシア語演習Iaとロシア語演習Ibの内容とは異なるテキストを使用する。	ロシア語で授業。
AB98F72	露語学演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	木2	1B204	ポイツォフ イヴァン アルセンチエ ヴィチ	ロシア語の様々な諸相に、言語形式と意味機能という観点からアプローチする。この演習では主に動詞の体(アスペクト)の基本を学ぶ。	ロシア語で授業。 西暦奇数年度開講。
AB98F82	露語学演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	木2	1B204	ポイツォフ イヴァン アルセンチエ ヴィチ	ロシア語の様々な諸相に、言語形式と意味機能という観点からアプローチする。この演習では主に動詞の体(アスペクト)の基本を学ぶ。	ロシア語で授業。 西暦奇数年度開講。
AB98F92	露語学演習I-c	2	1.0	2-4	春C秋C	木2	1B204	ポイツォフ イヴァン アルセンチエ ヴィチ	ロシア語の様々な諸相に、言語形式と意味機能という観点からアプローチする。この演習では主に動詞の体(アスペクト)の基本を学ぶ。	ロシア語で授業。 西暦奇数年度開講。
AB98G12	露語学演習II-a	2	1.0	2-4						2019年度開講せず。
AB98G22	露語学演習II-b	2	1.0	2-4						2019年度開講せず。
AB98G32	露語学演習II-c	2	1.0	2-4						2019年度開講せず。
AB98G42	露語会話作文演習-a	2	1.0	3・4	春AB	木3	1B204	ポイツォフ イヴァン アルセンチエ ヴィチ	基本文法と基本語彙の復習をしながら、さらなるコミュニケーション能力の向上を目指す。ここでは日常生活に役立つ表現を学ぶ。	ロシア語で授業。
AB98G52	露語会話作文演習-b	2	1.0	3・4	秋AB	木3	1B204	ポイツォフ イヴァン アルセンチエ ヴィチ	基本文法と基本語彙の復習をしながら、さらなるコミュニケーション能力の向上を目指す。ここでは討論に役立つ表現を学ぶ。	ロシア語で授業。
AB98G62	露語会話作文演習-c	2	1.0	3・4	春C秋C	木3	1B204	ポイツォフ イヴァン アルセンチエ ヴィチ	基本文法と基本語彙の復習をしながら、さらなるコミュニケーション能力の向上を目指す。ここでは討論と口頭発表に役立つ表現を学ぶ。	ロシア語で授業。
AB98G72	ロシア語演習II-a	2	1.0	1・2	春AB	火6	1B204	加藤 百合	ロシア文学講読。	西暦奇数年度開講。
AB98G82	ロシア語演習II-b	2	1.0	1・2	秋AB	火6	1B204	加藤 百合	ロシア文学史講読。	西暦奇数年度開講。
AB98G92	ロシア語演習II-c	2	1.0	1・2	春C秋C	火6	1B204	加藤 百合	主にロシア文学史講読。	西暦奇数年度開講。

言語学(応用言語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB92A11	応用言語学講義I-a	1	1.0	1・2	春AB	木3	1B202	土方 裕子	応用言語学が網羅する領域を概観する。	
AB92A21	応用言語学講義I-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3	1B202	土方 裕子	第二言語習得論や心理言語学の諸問題について考察する。	
AB92A22	応用言語学講義I-c	2	1.0	1・2	春C	木3,4	1B202	土方 裕子	聞く・話す・読む・書くの各技能と測定について議論する。	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。
AB92A31	応用言語学講義II-a	1	1.0	1・2	春AB	火1	1C206	磐崎 弘貞	This course discusses various topics in vocabulary research. In so doing, each student makes a summary presentation in English on a given topic.	The classroom language is English.
AB92A41	応用言語学講義II-b	1	1.0	1・2	秋AB	火1	1C206	磐崎 弘貞	This course discusses basic concepts in corpus linguistics and familiarizes students with corpus tools. In so doing, each student makes a summary presentation in English on given topics.	
AB92A42	応用言語学講義II-c	2	1.0	1・2	春C	火1,2	1C206	磐崎 弘貞	This course familiarizes students with corpus tools and corpus analysis as a hands-on training. In so doing, each student makes a summary presentation in English on given topics.	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。 The classroom language is English.
AB92A51	応用言語学講義III-a	1	1.0	1・2	春AB	水3	1C403	高木 智世	社会言語学の視点やこれまでの重要な発見を、身近な言語事象を交えながら概観する。	
AB92A61	応用言語学講義III-b	1	1.0	1・2	秋AB	水3	1C403	高木 智世	社会言語学の視点やこれまでの重要な発見を、身近な言語事象を交えながら概観する。	応用言語学III-aを履修済みであることが望ましい。
AB92A62	応用言語学講義III-c	2	1.0	1・2	春C	水3,4	1C403	高木 智世	社会言語学の視点やこれまでの重要な発見を、身近な言語事象を交えながら概観する。	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。 応用言語学III-a・応用言語学III-bを履修済みであることが望ましい。
AB92A71	応用言語学講義IV-a	1	1.0	1・2					現代日本語の文章を中心に、文章の振る舞い・特徴を言語学的に究明する基盤となる「文体」「話し言葉/書き言葉」「結束性」について基本的な概念と言語現象の整理を行うとともに、言語研究における理論・モデルについての基本的な知識を身に付ける。	西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB92A81	応用言語学講義IV-b	1	1.0	1・2					現代日本語の文章を中心に、文章の振る舞い・特徴を言語学的に究明する手がかりとなる「文体」「話し言葉/書き言葉」「結束性」の観点から実際の言語現象の分析・検討を行う。	西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB92A82	応用言語学講義IV-c	2	1.0	1・2					現代日本語の文章を対象に、文章研究の具体的なトピックとして「文体遷移」「役割語」「引用」等を取り上げ、言語学の方法論を用いた分析・検討を行う。	西暦偶数年度開講。 2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。 2019年度開講せず。
AB92B12	外書講読I-a	2	1.0	1-3	春AB	金4	1C304	小野 雄一	英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関するテキストを講読する。テキストに書かれた英語の特徴に注意を払いつつ、応用言語学分野の研究法を理解できるようにする。	2016年度から、教職の「免許法に規定する科目」における教科に関する科目が「英語コミュニケーション」となっているので注意すること。 西暦奇数年度開講。
AB92B22	外書講読I-b	2	1.0	1-3	秋AB	金4	1C304	小野 雄一	英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関する文献を講読する。テキストに書かれた英語の特徴に注意を払いつつ、応用言語学の研究手法について理解を深める。	2016年度から、教職の「免許法に規定する科目」における教科に関する科目が「英語コミュニケーション」となっているので注意すること。 西暦奇数年度開講。
AB92B23	外書講読I-c	3	1.0	1-3	春C	金3,4	1C206	小野 雄一	英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関する文献を講読する。コーパスの構築と分析に関する研究手法について理解を深めるとともに演習を通して分析スキルを身につける。	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。 2016年度から、教職の「免許法に規定する科目」における教科に関する科目が「英語コミュニケーション」となっているので注意すること。 西暦奇数年度開講。
AB92B32	外書講読II-a	2	1.0	1-3					英語で書かれた応用言語学に関する基礎文献の講読を行う。応用言語学に関する基礎となる分析手法、methodologyを英文の講読を通して理解した上で、各自のテーマに基づくデータ収集、分析、考察を含めた簡単なミニリサーチを行う。今学期は特に「研究倫理」、「論文フォーマット」に関して扱っていく。	2016年度から、教職の「免許法に規定する科目」における教科に関する科目が「英語コミュニケーション」となっているので注意すること。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB92B42	外書講読II-b	2	1.0	1-3					英語で書かれた応用言語学に関する基礎文献の講読を行う。応用言語学に関する基礎となる分析手法、methodologyを英文の講読を通して理解した上で、各自のテーマに基づくデータ収集、分析、考察を含めた簡単なミニリサーチを行う。今学期は特に量的研究、統計手法について学び、ミニリサーチの中で分析していく。	2016年度から、教職の「免許法に規定する科目」における教科に関する科目が「英語コミュニケーション」となっているので注意すること。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB92B43	外書講読II-c	3	1.0	1-3					英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関する文献を講読する。応用言語学における量的研究手法について理解を深めるとともに演習を通して分析スキルを身につける。	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。 2016年度から、教職の「免許法に規定する科目」における教科に関する科目が「英語コミュニケーション」となっているので注意すること。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB92C12	応用言語学演習I-a	2	1.0	2・3	春AB	木3	1C405	久保田 章	教室における英語習得研究の視点から教育言語学の研究方法について概観するとともに、語彙、文法及び4領域の習得の諸問題について考察する。	西暦奇数年度開講。
AB92C22	応用言語学演習I-b	2	1.0	2・3	秋AB	木3	1C405	久保田 章	各自の文献研究とミニリサーチを通じて、教育言語学の分野で卒業論文が執筆できるよう訓練する。	西暦奇数年度開講。
AB92C23	応用言語学演習I-c	3	1.0	2・3	春C	木3,4	1C405	久保田 章	教室における英語習得研究の視点から教育言語学の研究方法について概観するとともに、語彙、文法及び4領域の習得の諸問題について考察する。	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。 西暦奇数年度開講。
AB92C32	応用言語学演習II-a	2	1.0	2・3	春AB	火4	1C405	卯城 祐司	教室における外国語としての英語の指導および習得について、リーディングおよび文脈における語彙理解を中心に理論と実践の両面から考察する。	
AB92C42	応用言語学演習II-b	2	1.0	2・3	秋AB	火4	1C405	卯城 祐司	教室における外国語としての英語の指導および習得について、リーディングおよび文脈における語彙理解の研究を中心に、各自の問題意識を基に、文献を中心としたリサーチを行う。	
AB92C43	応用言語学演習II-c	3	1.0	2・3	春C	火3,4	1C405	卯城 祐司	教室における外国語としての英語の指導および習得について、リーディングおよび文脈における語彙理解を中心に理論と実践の両面から考察する。	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。
AB92C52	応用言語学演習III-a	2	1.0	2・3					社会相互行為としての日常会話を、会話分析的視点から精緻に観察・分析する能力を養う	西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB92C62	応用言語学演習III-b	2	1.0	2・3					応用言語学演習III-aで学んだ基礎知識を用いて、実際の相互行為場面を分析し、会話分析的視点から一定の知見を引き出すことを試みる。	西暦偶数年度開講。応用言語学演習III-aを履修済みであることを履修要件とする。2019年度開講せず。
AB92C63	応用言語学演習III-c	3	1.0	2・3					社会相互行為としての日常会話を、会話分析的視点から精緻に観察・分析する能力を養う。	西暦偶数年度開講。2018年度以前入学の文学類生を対象とする。応用言語学演習III-aを履修済みであることを履修要件とする。2019年度開講せず。
AB92C72	応用言語学演習IV-a	2	1.0	2・3	春AB	金3	1C405	田川 拓海	現代日本語の文章を研究する上で重要な言語現象および理論・モデルについて、文献を批判的に検討する作業を通して基本的な知識を身に付ける。	西暦奇数年度開講。
AB92C82	応用言語学演習IV-b	2	1.0	2・3	秋AB	金3	1C405	田川 拓海	文献調査によって、現代日本語の文章研究において何が研究課題になるのかを考える。さらに演習を通して、それらの研究課題について自ら現象の記述と分析を行う能力を身に付ける。	西暦奇数年度開講。
AB92C83	応用言語学演習IV-c	3	1.0	2・3	秋C	金3,4	1C405	田川 拓海	受講者自身で文章研究に関する研究テーマを設定し演習発表を行うことによって、文献調査、データ収集、言語現象の記述と分析といった言語学の研究に必要な能力を身に付ける。	2018年度以前入学の文学類生を対象とする。西暦奇数年度開講。
AB92F11	応用言語学特講I-a	1	1.0	3・4	春AB	月3	1C304	平井 明代	第2言語習得に關しての教授法、評価について理解を深める。また、評価手法を学び、使えるようになることを目指す。	
AB92F21	応用言語学特講I-b	1	1.0	3・4	秋AB	月3	1C304	平井 明代	言語パフォーマンス指導と評価に関する理論を学ぶ。また、パフォーマンステストを作成し、実施・分析することで、良いテストおよび評価とは何かを考察する。	
AB92F22	応用言語学特講I-c	2	1.0	3・4	春学期	集中		平井 明代	第2言語習得に關しての教授法、評価について理解を深める。また、評価手法を学び、使えるようになることを目指す。	2018年度以前入学の文学類生を対象とする。
AB92F31	応用言語学特講II-a	1	1.0	3・4	春AB	火3	1C304	高木 智世	人が人として相互行為に参加することができるというのはいかなることか。また、人は、相互行為においてどのように言語資源・身体資源を用いているのか。これらのテーマをめぐる関連領域の研究成果を概観し、相互行為の本質を考える。	西暦奇数年度開講。
AB92F41	応用言語学特講II-b	1	1.0	3・4	秋AB	火3	1C304	高木 智世	人が人として相互行為に参加することができるというのはいかなることか。また、人は、相互行為においてどのように言語資源・身体資源を用いているのか。これらのテーマをめぐる関連領域の研究成果を概観し、相互行為の本質を考える。	西暦奇数年度開講。
AB92F42	応用言語学特講II-c	2	1.0	3・4	春学期	集中		高木 智世	人が人として相互行為に参加することができるというのはいかなることか。また、人は、相互行為においてどのように言語資源・身体資源を用いているのか。これらのテーマをめぐる関連領域の研究成果を概観し、相互行為の本質を考える。	2018年度以前入学の文学類生を対象とする。西暦奇数年度開講。
AB92K12	応用言語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		磐崎 弘貞, 久保田章, 卯城 祐司, 平井明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子	卒業論文に関する研究指導を行う。(日程は別途掲示する。)	
AB92K22	応用言語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		磐崎 弘貞, 久保田章, 卯城 祐司, 平井明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子	卒業論文に関する研究指導を行う。(日程は別途掲示する。)	
AB92K38	卒業論文(応用言語学)	8	6.0	4	通年	随時		磐崎 弘貞, 久保田章, 卯城 祐司, 平井明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子	応用言語学に関する卒業論文。	

言語学(日本語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB93A11	日本語音韻論-a	1	1.0	2-4	春AB	月3	1C405	那須 昭夫	現代日本語の音声・音韻の特徴について、子音・母音・拍体系の各側面にわたり解説する。	
AB93A21	日本語音韻論-b	1	1.0	2-4	秋AB	月3	1C405	那須 昭夫	日本語音韻の史的変遷について解説する。古代語(上代・中古)および中世語を扱う。	
AB93A31	日本語音韻論-c	1	1.0	2-4	春C秋C	月3	1C405	那須 昭夫	現代語および中世語の音韻の特徴について解説する。中世語については資料講読も行う。	2018年度以前入学の文学類生に限る
AB93A41	日本語文法論-a	1	1.0	2-4	春AB	金4	共同利用棟A203	和氣 愛仁	現代日本語の文法に関する講義。文の基本構造、動詞の項構造とヴォイス、名詞句の機能と文法関係、テンス・アスペクト等のトピックを扱う。	



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB93A51	日本語文法論-b	1	1.0	2-4	秋AB	金4	共同利用棟 A203	和氣 愛仁	現代日本語の文法に関する講義。文の機能とモダリティ、主題ととりたて、文の階層的な構造、談話とテキスト等のトピックを扱う。	
AB93A61	日本語文法論-c	1	1.0	2-4	春C秋C	金4	共同利用棟 A203	和氣 愛仁	現代日本語の文法に関する講義。日本語文法論-aおよび日本語文法論-bで扱った話題についてさらに理解を深める。	2018年度以前入学の人文系類生に限る
AB93A71	日本語史-a	1	1.0	2-4	春AB	金2	1C504	大倉 浩	文献資料をひもときながら、日本語の語彙・文法の変遷を確認してゆく。いわゆる「古典文法」への再入門ともなる。動詞下一段活用の「蹴る」を取り上げる。	G科目
AB93A81	日本語史-b	1	1.0	2-4	秋AB	金2	1C504	大倉 浩	文献資料をひもときながら、日本語の語彙・文法の変遷を確認してゆく。古典文法で扱われる「係り結び」について文献調査をもとに考える。	G科目
AB93A91	日本語史-c	1	1.0	2-4	春C秋C	金2	1C504	大倉 浩	文献資料をひもときながら、日本語の語彙・文法の変遷を確認してゆく。助動詞の変遷(時や推量に関わるもの)について、その起源をめぐる諸説を考察する。	2018年度以前入学の人文系類生に限る G科目
AB93B01	日本語学講読I-a	1	1.0	2-4	春AB	火2	1C406	大倉 浩	江戸初期刊行の『狂言記』を読む。狂言という芸能の用語を通して中世・近世の日本語を考察する。芸能の歴史をたどった後、「末広がりに釣り女」を版本コピーで読む。図書館資料見学も行う。	G科目
AB93B11	日本語学講読I-b	1	1.0	2-4	秋AB	火2	1C406	大倉 浩	江戸初期刊行の『狂言記』を読む。狂言という芸能の用語を通して中世・近世の日本語を考察する。「柿山伏」「すはじかみ」「どぶかつちり」「武悪」を版本コピーで読む。狂言の演技も体験する。	G科目
AB93B21	日本語学講読II-a	1	1.0	2-4	春AB	火3	1C504	那須 昭夫	アクセント辞典の記述を検討しながら、現代日本語(共通語)アクセントの規則性について理解を深める。	
AB93B31	日本語学講読II-b	1	1.0	2-4	秋AB	火3	1C504	那須 昭夫	日本語のアクセントの史的変遷について、おもに古代語および中世語のアクセントの特徴を中心に学ぶ。	
AB93B41	日本語学講読III-a	1	1.0	2-4	春AB	木3	1C305	矢澤 真人	受講者それぞれの具体的なテーマに即して、課題の設定から、研究計画、研究方法などを検討していく。IIIaでは、主として先行研究の検証と分析を軸として進める。	
AB93B51	日本語学講読III-b	1	1.0	2-4	秋AB	木3	1C305	矢澤 真人	受講者それぞれの具体的なテーマに即して、具体的な調査を行い、その調査結果をもとに、分析法や一般化の妥当性について検討する。	
AB93B61	日本語学講読IV-a	1	1.0	2-4	春AB	金3	1B301	橋本 修	卒業論文等に関わる、日本語学に関する先行研究を紹介検討する。一部、上代語・中古語等の資料紹介・検討を含む。	
AB93B71	日本語学講読IV-b	1	1.0	2-4	秋AB	金3	1B301	橋本 修	日本語学の卒業論文等に関わる、やや専門的な先行研究の講読。受講者自身の研究を検討することを含む。	
AB93B81	日本語学講読V-a	1	1.0	2-4	春AB	火4	1C304	和氣 愛仁	現代日本語の格に関連する主要文献の講読。担当教員の講義を中心に進める。	西暦奇数年度開講。
AB93B91	日本語学講読V-b	1	1.0	2-4	秋AB	火4	1C304	和氣 愛仁	現代日本語の格に関連する主要文献の講読。受講者の発表を中心に進める。	西暦奇数年度開講。
AB93C01	日本語学講読VI-a	1	1.0	2-4					現代日本語のヴォイスに関連する主要文献の講読。担当教員の講義を中心に進める。	2019年度開講せず。
AB93C11	日本語学講読VI-b	1	1.0	2-4					現代日本語のヴォイスに関連する主要文献の講読。受講者の発表を中心に進める。	2019年度開講せず。
AB93E12	日本語学演習I-a	2	1.0	2	春AB	金5	1C206	和氣 愛仁	コーパス言語学の基礎に関する演習。正規表現を用いた文字列検索・置換、表計算ソフトによる用例集計・分析を扱う。	
AB93E22	日本語学演習I-b	2	1.0	2	秋AB	金5	1D301-1	和氣 愛仁	コーパス言語学のやや応用的な演習。mecabによる形態素解析、中納言による品詞情報付きコーパス検索、スクリプト言語によるプログラミングを扱う。	
AB93E32	日本語学演習I-c	2	1.0	2-4	春C秋C	金5	1C206 1D301-1	和氣 愛仁	言語学分野における人文情報学の応用に関する演習。コンピュータネットワークの基礎、各種データ記述言語によるデータ表現、データベース設計、ウェブサイト構築等について触れる。	2018年度以前入学の人文系類生に限る
AB93E42	日本語学演習II-a	2	1.0	3	春AB	木2	1C402	橋本 修	古今和歌集を中心とした、平安時代日本語に関する演習。資料の取り扱いの検討を含む。	
AB93E52	日本語学演習II-b	2	1.0	3	秋AB	木2	1C402	橋本 修	古今和歌集を中心とした、平安時代日本語に関する演習。先行研究の紹介・検討を含む。	
AB93E62	日本語学演習II-c	2	1.0	3-4	春C秋C	木2	1C402	橋本 修	平安時代日本語についての基礎的な事項に関する演習。設定した課題について各自で検討する。	2018年度以前入学の人文系類生に限る
AB93E72	日本語学演習III-a	2	1.0	4	春AB	月6	1C402	大倉 浩	天草版ESOPONO FABVLASを中心にして中世日本語の特徴を捉える。キリシタン資料の概説から、演習のポイントを説明し、演習を行う。	
AB93E82	日本語学演習III-b	2	1.0	4	秋AB	月6	1C402	大倉 浩	天草版ESOPONO FABVLASを中心にして中世日本語の特徴を捉える。参加者の分担調査発表から問題を広げていく。	
AB93E92	日本語学演習III-c	2	1.0	4	春C秋C	月6	1C402	大倉 浩	天草版ESOPONO FABVLASを中心にして中世日本語の特徴を捉える。キリシタン資料から、狂言資料、抄物資料へと発展させて演習を行う。	2018年度以前入学の人文系類生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB93J01	日本語学特講-a	1	1.0	2-4	春AB	金6	1C305	福島 直恭	日本語学に関する多様なトピックを扱う。日本語史上の具体例の考察を通して、言語の歴史的研究の意義、方法および研究に対する評価のあり方について考えていく。今学期は後期江戸語の行為要求表現の使用を題材とする。	西暦奇数年度開講。
AB93J11	日本語学特講-b	1	1.0	2-4					日本語学に関する多様なトピックを扱う。	2019年度開講せず。
AB93K12	日本語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		那須 昭夫, 大倉 浩, 橋本 修, 矢澤 真人, 和氣 愛仁	日本語学コースの卒業予定者を対象に、各受講者の課題に沿いながら、卒業論文の作成を視野に入れた研究指導を行う。	
AB93K22	日本語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		那須 昭夫, 大倉 浩, 橋本 修, 矢澤 真人, 和氣 愛仁	日本語学コースの卒業予定者を対象に、卒業論文の作成に向けた研究指導を行う。	
AB93K38	卒業論文(日本語学)	8	6.0	4	通年	随時		那須 昭夫, 大倉 浩, 橋本 修, 矢澤 真人, 和氣 愛仁	日本語学コースの卒業論文。	

教職課程「国語」の教科に関する科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB93J91	漢文学概論	1	1.0	1-4	春AB	火3	共同利用棟 A203	荒井 礼	漢文学を理解するために必要な事柄について講義する。	教職「国語」の教科に関する科目

言語学(英語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB95A11	英語文法論・統語論(1)-a	1	1.0	1-2	春AB	水3	1C310	加賀 信広	英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、動詞と前置詞に関連する事項について考察する。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95A21	英語文法論・統語論(1)-b	1	1.0	1-2	秋AB	水3	1C310	加賀 信広	英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、名詞と形容詞に関連する事項に	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。
AB95A31	英語文法論・統語論(2)-a	1	1.0	1-2					英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語の基本的な構文について考察する。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB95A41	英語文法論・統語論(2)-b	1	1.0	1-2					英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語の移動現象について考察する。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB95A51	英語意味論・語用論(1)-a	1	1.0	2-3					最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主として語の意味と概念理解の関係に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB95A61	英語意味論・語用論(1)-b	1	1.0	2-3					最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主として文法形式と意味・言語使用の対応関係に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB95A71	英語意味論・語用論(2)-a	1	1.0	2-3	春AB	火3	共同利用棟 A201	廣瀬 幸生	最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主として語の意味論に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95A81	英語意味論・語用論(2)-b	1	1.0	2-3	秋AB	火3	共同利用棟 A201	廣瀬 幸生	最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主として構文の意味論と語用論に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95B11	英語音韻論・形態論(1)-a	1	1.0	2-3	春AB	月3	1C306	山村 崇斗	英語の形態論と音韻論に関する基本事項を題材にして生成言語学の基本概念、研究目的について学び、科学としての言語研究にふれる。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95B21	英語音韻論・形態論(1)-b	1	1.0	2-3	秋AB	月3	1C306	山村 崇斗	英語の形態論と音韻論に関する基本事項を題材にして生成言語学における言語分析の方法を学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。
AB95B31	英語音韻論・形態論(2)-a	1	1.0	2-3					英語の形態論と音韻論に関する基本事項を題材にして生成言語学の基本概念、研究目的について学び、科学としての言語研究にふれる。適宜問題演習を行う。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB95B41	英語音韻論・形態論(2)-b	1	1.0	2-3					英語の形態論と音韻論に関する基本事項を題材にして生成言語学における言語分析の方法を学ぶ。適宜論文の講読も行う。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB95C11	英語論文講読(1)-a	1	1.0	1-2	春AB	木3	共同利用棟 A203	宮腰 幸一	言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95C21	英語論文講読(1)-b	1	1.0	1-2	秋AB	木3	共同利用棟 A203	宮腰 幸一	春学期に引き続き、言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB95C31	英語論文講読(2)-a	1	1.0	1・2					英語で書かれた文献の講読を通して、英語学・言語学の基礎知識を修得するとともに英語論文の読解力強化を図る。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB95C41	英語論文講読(2)-b	1	1.0	1・2					英語で書かれた文献の講読を通して、英語学・言語学の基礎知識を修得するとともに、批判的に論文を読んでいく練習を行う。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB95C51	英語論文講読(3)-a	1	1.0	2・3	春AB	火4	共同利用棟 A203	柳田 優子	英語学・言語学に関する英語で書かれた研究論文を講読し、通時的・通言語的観点から言語現象についての知識を習得することを旨とする。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95C61	英語論文講読(3)-b	1	1.0	2・3	春C	集中		柳田 優子	英語学・言語学に関する英語で書かれた研究論文を講読し、通時的・通言語的観点から言語現象についての発展的知識を習得することを旨とする。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95C71	英語論文講読(4)-a	1	1.0	2・3					意味論のテキストを原書で読み、基礎知識を習得するとともに、仮説を提示し議論を組み立てる方法を学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB95C81	英語論文講読(4)-b	1	1.0	2・3					語用論のテキストを原書で読み、基礎知識を習得するとともに、仮説を提示し議論を組み立てる方法を学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB95E12	英語学演習(1)-a	2	1.0	2-4					古英語のテキストを教材として、現代英語とは異なる語の屈折や語順について、特に名詞句に関する事柄に注目し、理論言語学の観点から古英語、現代英語を観察する。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。 2019年度開講せず。
AB95E22	英語学演習(1)-b	2	1.0	2-4					古英語のテキストを教材として、現代英語とは異なる語の屈折や語順について、特に動詞句や文に関する事柄に注目し、理論言語学の観点から古英語、現代英語を観察することを目標とする。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB95E32	英語学演習(2)-a	2	1.0	2-4	春AB	木1	1C405	金谷 優	一つの現象について多面的に分析する能力を養うため、同一現象を異なる角度から分析した複数の論文を読むことで当該現象をどのように分析することができるのかを考えていく。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95E42	英語学演習(2)-b	2	1.0	2-4	秋AB	木1	1C405	金谷 優	「文法化」の概念を理解するため、まずは具体的な事例研究を扱った論文を演習形式で講読し、テキストを用いて文法化の理論的側面を理解し、実際に言語分析を行う。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95E52	英語学演習(3)-a	2	1.0	2-4	春AB	月4	1C405	和田 尚明	アスペクトや時制を扱った英文論文の要約を基にプレゼンしてもらい、その内容について、教員がリードしつつも全員で議論し、必要に応じて解説を加える。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95E62	英語学演習(3)-b	2	1.0	2-4	秋AB	月4	1C405	和田 尚明	未来表現やモダリティを扱った英文論文の要約を基にプレゼンしてもらい、その内容について、教員がリードしつつも全員で議論し、必要に応じて解説を加える。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB95E72	英語学演習(4)-a	2	1.0	2-4					言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学(特に語彙意味論)の基礎的な知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB95E82	英語学演習(4)-b	2	1.0	2-4					春学期に引き続き、言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学(特に語彙意味論)の基礎的な知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
AB95J12	英語学論文演習-a	2	1.0	3	春AB	木2	1B401	島田 雅晴	言語学の論文を英語で書くための訓練を行う(基礎編)。	履修制限を設けることがある。
AB95J22	英語学論文演習-b	2	1.0	3	秋AB	木2	1B401	島田 雅晴	言語学の論文を英語で書くための訓練を行う(応用編)。	履修制限を設けることがある。
AB95K12	英語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		廣瀬 幸生, 柳田 優子, 加賀 信広, 島田 雅晴, 宮腰 幸一, 和田 尚明, 金谷 優, 山村 崇斗	英語学の卒業論文を書くための指導を行う(基本編)。	実施日は別に掲示する。
AB95K22	英語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		廣瀬 幸生, 柳田 優子, 加賀 信広, 島田 雅晴, 宮腰 幸一, 和田 尚明, 金谷 優, 山村 崇斗	英語学の卒業論文を書くための指導を行う(実践編)。	実施日は別に掲示する。
AB95K38	卒業論文(英語学)	8	6.0	4	通年	随時		廣瀬 幸生, 柳田 優子, 加賀 信広, 島田 雅晴, 宮腰 幸一, 和田 尚明, 金谷 優, 山村 崇斗	英語学に関する卒業論文。	
AB95L11	英語文法論・統語論(1)-c	1	1.0	1・2	秋C	集中		加賀 信広	英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。主に助動詞にかかわる問題を考察する。	履修制限を設けることがある。2018年度以前の入学者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB95L21	英語文法論・統語論(2)-c	1	1.0	1・2					英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。主に冠詞と指示詞にかかわる問題について考察する。	履修制限を設けることがある。2018年度以前入学者のみ受講可。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB95L31	英語論文講読(3)-c	1	1.0	2・3	春C	集中		柳田 優子	英語学・言語学に関する英語で書かれた研究論文を講読し、通時的・通言語的観点から言語現象についての発展的知識を習得することを旨とする。	履修制限を設けることがある。2018年度以前入学者のみ受講可。西暦奇数年度開講。
AB95L41	英語論文講読(4)-c	1	1.0	2・3					語用論のテキストを原書で読み、基礎知識を習得するとともに、仮説を提示し議論を組み立てる方法を学ぶ。	履修制限を設けることがある。2018年度以前入学者のみ受講可。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB95L52	英語学演習(3)-c	2	1.0	2-4	秋C	集中		和田 尚明	法助動詞を扱った英文論文の要約を基にプレゼンをしてもらい、その内容について、教員がリードしつつも全員で議論し、必要に応じて解説を加える。	履修制限を設けることがある。2018年度以前入学者のみ受講可。西暦奇数年度開講。
AB95L62	英語学演習(4)-c	2	1.0	2-4					秋学期に引き続き、言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学(特に語彙意味論)の基礎的な知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。2018年度以前入学者のみ受講可。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB95L72	英語学論文演習-c	2	1.0	3	秋C	集中		島田 雅晴	言語学の論文を英語で書くための訓練や発表の訓練を行う。	履修制限を設けることがある。2018年度以前入学者のみ受講可。

言語学(その他)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB99A11	比較・対照言語論I-a	1	1.0	2-4	春AB	金3	1C306	小野 雄一	主に日本語と英語の様々な形態の言語資料を用いて、言語の比較・対照研究の基礎に関する講義と演習を行う。その上で、両言語がどのように影響しあっているのかという言語変異の観点から第二言語習得、言語借用に関する研究事例及び研究方法について検討する。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB99A21	比較・対照言語論I-b	1	1.0	2-4	秋AB	火2	1B208	和田 尚明	時制・アスペクト・モダリティ・発話行為に関する現象について、日英語を中心に、比較・検討を行う。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。
AB99A31	比較・対照言語論II-a	1	1.0	2-4					言語の比較・対照研究の基礎(研究の対象・目標・方法・成果・意義など)を世界の様々な言語の具体例やいくつかの事例研究を通して体系的に学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
AB99A41	比較・対照言語論II-b	1	1.0	2-4					文法事項を中心に、主として奈良時代・平安時代の日本語と現代日本語とを比較・対照する。奈良時代・平安時代日本語資料の解説を含む。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。